

デジタル 4K ビデオ カメラレコーダー

PXW-Z100

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

XDCIM™ **XQD™** **XAVC**

4K **HDMI™** **InfoLITHIUM™** **L**
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE SERIES

目次

概要

各部の名称と働き	5
画面表示	12
液晶画面 / ビューファインダー画面	12

準備

電源	14
バッテリーを充電する	14
時計を合わせる	16
機器を取り付ける	16
マイクを取り付ける	16
レンズカバー付きフードを取り付ける	17
液晶画面とファインダーを調節する	17
XQD メモリーカードを使う	18
XQD メモリーカードについて	18
XQD メモリーカードを入れる	18
XQD メモリーカードを取り出す	19
記録するメモリーカードスロットを選択する	19
XQD メモリーカードをフォーマット（初期化）する	19
残りの記録可能時間を確認する	20
USB ワイヤレス LAN モジュールを使う	20
IFU-WLM3 を取り付ける	20
Wi-Fi 接続する	21
Wi-Fi リモコンを使用する	22
UTILITY SD カードを使う	24
本機で使用可能な SD カード	24
SD カードを入れる	24
SD カードを取り出す	24
SD カードをフォーマット（初期化）する	25
残容量を確認する	25

撮影

基本操作手順	26
基本設定を変更する	29
記録フォーマット	29
明るさを調節する	29

自然な色合いに調節する（ホワイトバランス）	31
音の設定をする	32
タイムデータ	34
便利な機能	35
アサインボタン	35
スロー&クイックモーション	35

サムネイル画面

サムネイル画面	36
画面の構成	36
クリップの再生	37
選択したクリップ以降のクリップを連続再生する	37
クリップ操作	37
サムネイルメニューの操作方法	37
クリップの詳細情報を表示する	38
クリップを削除する	39
サムネイル画面の情報を変更する	39

設定

セットアップメニューの操作方法	40
セットアップメニュー一覧	41
Camera メニュー	41
Paint メニュー	42
Audio メニュー	44
Video メニュー	45
LCD/VF メニュー	45
TC/UB メニュー	48
Recording メニュー	48
Media メニュー	49
File メニュー	49
System メニュー	50
Thumbnail メニュー	52

外部機器接続

外部モニターや記録装置を接続する	53
パソコンでクリップを管理・編集する	54
USB ケーブルを使って接続する	54

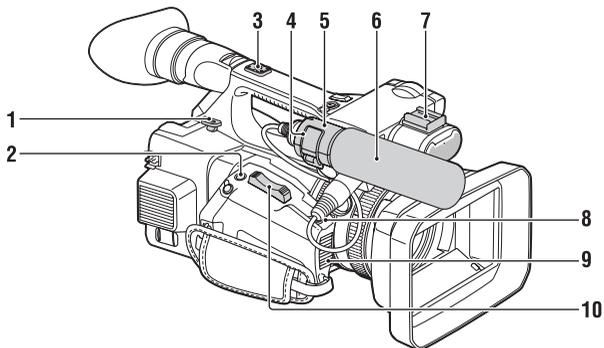
付録

使用上のご注意	55
記録時間について	55
海外で使う	57
出力のフォーマットと制限	62
ビデオフォーマットと出力信号	62
エラー / 警告表示	65
エラー表示	65
警告表示	65
ライセンスについて	67
GPL/LGPL 適用ソフトウェアの入手について	67
オープンソースソフトウェアのライセンスについて	67
保証書とアフターサービス	67
保証書	67
アフターサービス	67
主な仕様	68
付属品	69
索引	71

概要

各部の名称と働き

◆それぞれの機能・使いかたについて詳しくは、() 内のページをご覧ください。



- 1. ショルダーストラップ取り付け部 (8)
- 2. ASSIGN7ボタン/FOCUS MAGNIFIERボタン (35)
- 3. アクセサリーシュー 取り付け部
- 4. マイク固定用クランパー (16)
- 5. マイクホルダー (16)
- 6. マイク (16)

- 7. アクセサリーシュー
- 8. IRIS PUSH AUTO ボタン
- 9. 吸気口

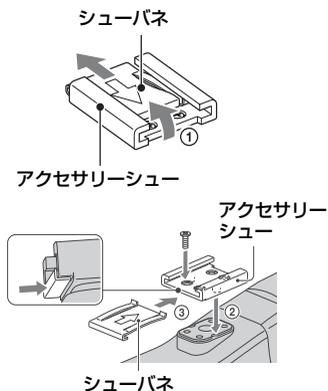
ご注意

- 放熱口周辺は、高温になるおそれがあります。
- 放熱口をふさがらないでください。

- 10. ズームレバー (26)

アクセサリーシューを取り付ける

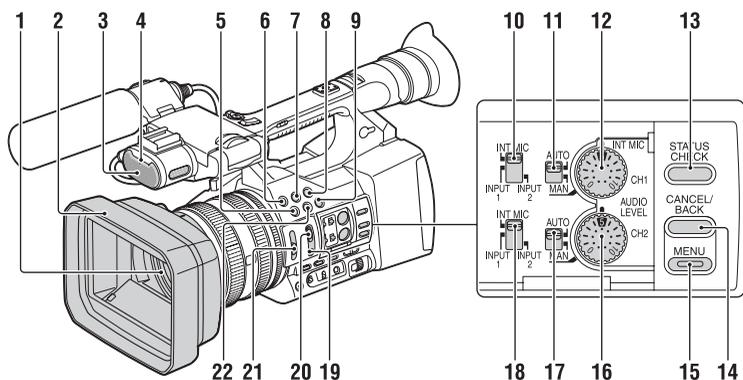
アクセサリーシュー取り付け部に図のように取り付けてください。



- 1 シューバネの先端を持ち上げ、刻印された矢印の向きと反対方向へ引き抜く。
- 2 アクセサリーシューの凸部とアクセサリーシュー取り付け部の凹部を合わせて取り付け、4本のネジを締める。
- 3 シューバネを矢印の方向に挿入し、コの字部分がアクセサリーシューの端部にはまるように取り付ける。

アクセサリーシューを取りはずす

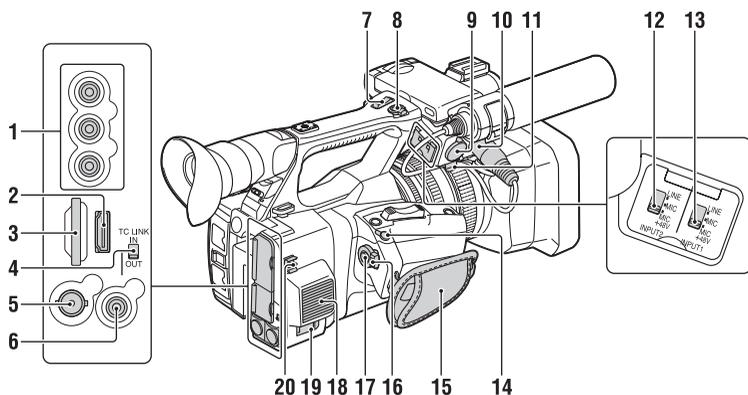
「アクセサリーシューを取り付ける」の手順1と同様にシューバネを外し、ネジを緩めてアクセサリーシューを外す。



1. レンズ (17)
2. レンズカバー付きフード (17)
3. 内蔵マイク (32)
4. 前部録画ランプ (50)
記録メディアやバッテリー残量が少なくなると点滅します。
5. ASSIGN4ボタン/ZEBRA ボタン
6. ASSIGN1ボタン
7. ASSIGN2ボタン*
8. ASSIGN3ボタン
9. ASSIGN6ボタン/THUMBNAILボタン
10. CH1 (INT MIC/INPUT1/INPUT2) スイッチ
11. AUTO/MAN (CH1) スイッチ (33)
12. AUDIO LEVEL (CH1) ダイアル (33)
13. STATUS CHECKボタン (9)
14. CANCEL/BACKボタン (40)
15. MENUボタン** (40)
16. AUDIO LEVEL (CH2) ダイアル (33)
17. AUTO/MAN (CH2) スイッチ (33)
18. CH2 (INT MIC/INPUT1/INPUT2) スイッチ (33)
19. PUSH AUTOボタン (27)
20. FOCUSスイッチ (27)
21. ND FILTERスイッチ (30)
22. ASSIGN5ボタン/PEAKINGボタン*

* ASSIGN5ボタン/PEAKINGボタン、ASSIGN2ボタンに凸点（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。

** MENUボタンに凸バー（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。



1. AUDIO OUT端子/VIDEO OUT端子
(53、64)

2. HDMI OUT端子 (53)

3. UTILITY SDスロット
(設定内容の保存・読み出し (File機能) と、将来のバージョンアップ (ソフトウェアアップデート) 時に使用します。)

4. TC LINK IN/OUTスイッチ (34)

5. SDI OUT端子 (53)

6. TC LINK端子

7. ハンドルズームレバー (26)

8. START/STOPボタン

HOLD位置にするとSTART/STOPボタンが効かなくなります。

9. INPUT2端子

10. INPUT1端子 (16)

11. ケーブルホルダー (16)

マイクケーブルなどを固定するときに使います。

12. INPUT2スイッチ (32)

13. INPUT1スイッチ (32)

14. REMOTE端子

REMOTE端子は、ビデオ機器と周辺機器をつなぎ、録画のスタート/ストップなどをコントロールできるようにした端子です。

15. グリップベルト

16. POWERスイッチ (26)

17. 録画ボタン (26)

18. 排気口

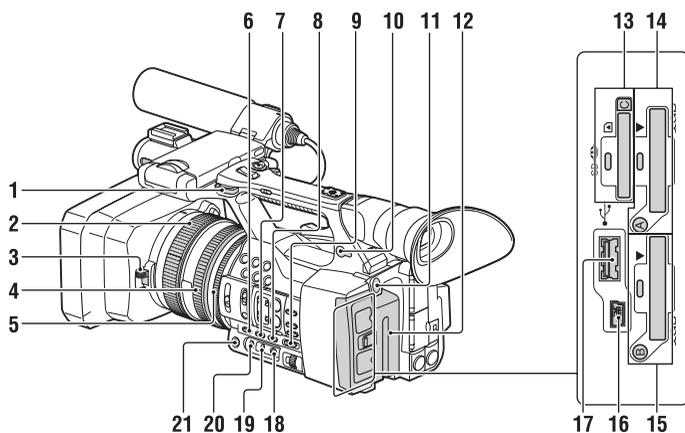
ご注意

- 放熱口周辺は、高温になるおそれがあります。
- 放熱口をふさがないでください。

19. DC IN端子 (15)

20. ケーブルホルダー

DCケーブルなどを固定するときに使います。



1. ショルダーストラップ取り付け部
2. フォーカスリング (27)
3. レンズカバーレバー (17)
4. ズームリング (27)
5. アイリスリング (29)
6. GAINボタン (29)
7. WHT BALボタン* (31)
8. SHUTTER SPEEDボタン (30)
9. AUTO/MANUALスイッチ (29)
10. ♪ (ヘッドホン) 端子
ヘッドホンを使うときは、ステレオミニジャックのものを使ってください。
11. BATT RELEASEボタン (14)
12. バッテリー (14)
13. “メモリスティック”/SDカード Cスロットアクセスランプ
(将来のバージョンアップで使用できるようになります。)
14. XQDメモリーカード Aスロット/選択ボタンアクセスランプ (19)
15. XQDメモリーカード Bスロット/選択ボタンアクセスランプ (19)
16. USB端子 (mini-Bタイプ) (54)
17. ♪ (USB) 端子 (Aタイプ)
(将来のバージョンアップで使用できるようになります。)
18. 📢 (one push) ボタン (31)
19. ホワイトバランスメモリースイッチ (31)

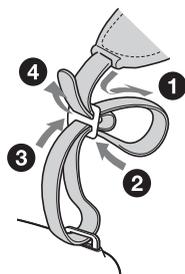
20. ゲインスイッチ (29)

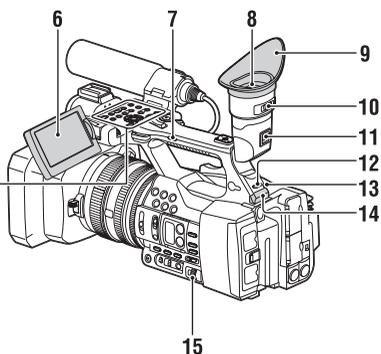
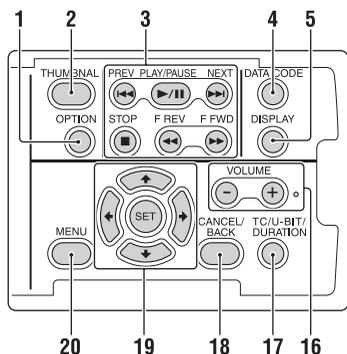
21. IRISボタン* (29)

* IRISボタン、WHT BALボタンに凸点 (突起) が付いています。操作の目印としてお使いください。

ショルダーストラップ (別売) を取り付けるには

ショルダーストラップ取り付け部に図のように取り付けてください。



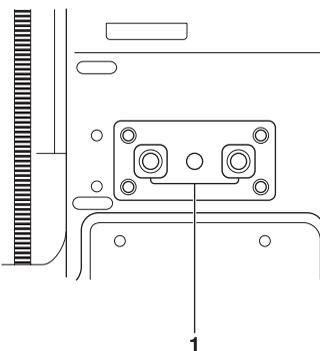


1. OPTIONボタン (37)
2. THUMBNAILボタン (36)
3. 再生操作ボタン (PREV、PLAY/PAUSE*、NEXT、STOP、F REV、F FWD) (27)
4. DATA CODEボタン
(将来のバージョンアップで使用できるようになります。)
5. DISPLAYボタン (12)
6. 液晶画面 (17)
7. ハンドルズームスイッチ (26)
8. ビューファインダー (18)
9. 大型アイカップ
10. 視度調節つまみ (18)
11. ビューファインダー取りはずしつまみ (60)
12. HEADPHONE MONITORスイッチ (34)
13. 後部録画ランプ (50)
14. USBワイヤレスLANモジュール格納部 (20)
USBワイヤレスLANモジュールIFU-WLM3を接続することにより、無線LAN機器 (付属) との通信が可能になります。
15. SEL/SETダイヤル (40)
16. VOLUMEボタン*
17. TC/U-BIT/DURATIONボタン
(液晶画面のタイムコード、録画時間表示を切り換えます。ユーザービットは、将来のバージョンアップで使えるようになります。)
18. CANCEL/BACKボタン (40)

19. ▲/▼/◀/▶/SETボタン (40)
20. MENUボタン (40)

* VOLUMEの+ボタンの横とPLAY/PAUSEボタンに凸点 (突起) が付いています。操作の目印としてお使いください。

底面



1. 三脚用ネジ穴 (1/4インチ)
1/4-20UNCネジに対応
三脚 (別売、ネジの長さ5.5mm以下) を取り付けます。

ステータス画面

ステータス画面を表示させるには

- STATUS CHECKボタンを押す

ステータス画面を切り換えるには

- SEL/SETダイヤルを回す

ステータス画面を消すには

- STATUS CHECKボタンを押す

カメラステータス画面

カメラの電子シャッター設定やレンズの状態を表示します。

Gain<H>	ゲイン<H>レベル設定値
Gain<M>	ゲイン<M>レベル設定値
Gain<L>	ゲイン<L>レベル設定値
Preset White	ホワイトバランスのプリセット値
Gamma	Gammaカテゴリとカーブ
AE Level	AEレベルの設定値
AE Speed	AEの制御スピードの設定値
AGC Limit	AGC機能の最大ゲインの設定値
A.SHT Limit	オートシャッター機能の最速シャッタースピード

音声ステータス画面

各チャンネルの入力設定、オーディオレベルメーターと風音低減フィルターの設定状態を表示します。

CH 1のレベルメーター	CH1のレベルメーター
CH 1 Source	CH1の入カソース
CH 1 Ref. / Sens.	CH1に入力された内蔵マイクの感度、またはINPUTのリファレンスレベル
CH 1 Wind Filter	CH1に入力されたマイクのウインドフィルターの設定状態
CH 2のレベルメーター	CH2のレベルメーター
CH 2 Source	CH2の入カソース
CH 2 Ref. / Sens.	CH2に入力された内蔵マイクの感度、またはINPUTのリファレンスレベル
CH 2 Wind Filter	CH2に入力されたマイクのウインドフィルターの設定状態
Audio Format	記録音声フォーマットの設定状態
Headphone Out	ヘッドホン出力方式の設定状態

システム状態画面

ビデオ信号の設定を表示します。

Country	NTSC地域またはPAL地域の設定状態
Rec Format	XQDメモリーカードに記録するフォーマット
Picture Size	XQDメモリーカードに記録する画サイズ
Frame Rate	XQDメモリーカードに記録するフレームレート
Rec Function	ONになっている特殊記録とその設定

ビデオ出力状態画面

SDI、HDMI、ビデオ出力の設定を表示します。

SDI	出力画サイズ 出力On/Off
HDMI	出力画サイズ 出力On/Off
Video	出力画サイズ

アサインボタンステータス画面

各アサインボタンに割り当てた機能を表示します。

1	Assign1ボタンに割り当てられている機能
2	Assign2ボタンに割り当てられている機能
3	Assign3ボタンに割り当てられている機能
4	Assign4ボタンに割り当てられている機能
5	Assign5ボタンに割り当てられている機能
6	Assign6ボタンに割り当てられている機能
7	Assign7ボタンに割り当てられている機能

メディア状態画面

記録メディア（XQDメモリーカードA/XQDメモリーカードB）の残量、残記録可能時間、および寿命データを表示します。

メディアAのメディア情報	Aスロットにメディアが挿入されているとき、Mediaアイコンを表示する
--------------	-------------------------------------

メディアAのプロテクト情報	Aスロットに挿入されている記録メディアがプロテクトされているとき、Protectアイコンを表示する
ご注意	
<ul style="list-style-type: none"> • 本機でXQDメモリーカードをプロテクトすることはできません。 	
メディアAの残量メーター	Aスロットに挿入されている記録メディアの残容量を、残比率で表したバーで表示する
メディアAの残容量	Aスロットに挿入されている記録メディア残容量を、単位GBで表示する
メディアBのメディア情報	Bスロットにメディアが挿入されているとき、Mediaアイコンを表示する
メディアBのプロテクト情報	Bスロットに挿入されている記録メディアがプロテクトされているとき、Protectアイコンを表示する
メディアBの残量メーター	Bスロットに挿入されている記録メディアの残容量を、残比率で表したバーで表示する
メディアBの残容量	Bスロットに挿入されている記録メディア残容量を、単位GBで表示する
UTILITY SDカードのメディア情報	UTILITY SDスロットにメディアが挿入されているとき、Mediaアイコンを表示する
UTILITY SDカードのプロテクト情報	UTILITY SDカードがプロテクトされているとき、Protectアイコンを表示する
UTILITY SDカードの残量メーター	UTILITY SDスロットに挿入されている記録メディアの残容量を、残比率で表したバーで表示する
UTILITY SDカードの残容量	UTILITY SDスロットに挿入されている記録メディアの残容量を、残比率で表したバーで表示する

画面表示

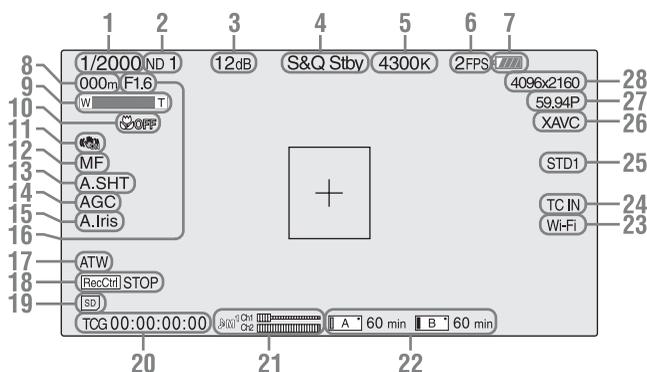
液晶画面/ビューファインダー画面

撮影中（記録中/記録待機中）および再生中は、液晶画面/ビューファインダー画面の映像に本機の状態や設定が重ねて表示されます。

表示/非表示の切り換えは、DISPLAYボタンで行います。

また、項目ごとに表示/非表示を選択することもできます（47ページ）。

撮影中の画面に表示される情報



1. シャッターモード/シャッタースピード表示

2. NDフィルター表示（30ページ）

3. ゲイン表示（29ページ）

4. 特殊記録/動作状態表示

●Rec	録画中
Stby	録画待機中
●S&Q Rec	スロー&クイックモーション録画中
S&Q Stby	スロー&クイックモーション録画待機中

5. 色温度表示（31ページ）

6. S&Q撮影フレームレート表示（48ページ）

7. バッテリー残量表示（58ページ）

8. フォーカスポジション表示

フォーカスの位置を表示します。

9. ズームポジション表示

ズームの位置が0（広角端）～99（望遠端）の範囲で表示されます。

10. フォーカスマクロ表示

11. 手ブレ補正表示

12. フォーカスモード表示

13. オートシャッター表示

14. AGC表示

15. オートアイリス表示

16. アイリスポジション表示

アイリスの位置が表示されます。

17. ホワイトバランスモード表示 (31ページ)

ATW	自動モード
PWB	プリセットモード
メモリー A	メモリー A モード
メモリー B	メモリー B モード
☀	プリセットモード(屋内)
☀	プリセットモード(屋外)

18. SDI出力/HDMI出力のRec Control状態表示 (49ページ)

19. UTILITY SDスロットメディア状態表示

20. タイムデータ表示 (34ページ)

21. オーディオレベルメーター

22. A/Bスロットメディア状態/残量表示 (20ページ)

アイコンの左がオレンジのとき：記録可能
アイコン右上の緑ランプ点灯時：再生可能

23. Wi-Fi接続状態表示 (20ページ)

Wi-Fi機能がOnのときに表示します。

24. TC IN接続状態表示 (48ページ)

タイムコードが外部から入力されているときに表示されます。

25. ガンマ表示 (43ページ)

ガンマ設定値を表示します。

26. 記録フォーマット (コーデック) 表示 (29ページ)

XQDメモリーカードに記録されるフォーマット名称を表示します。

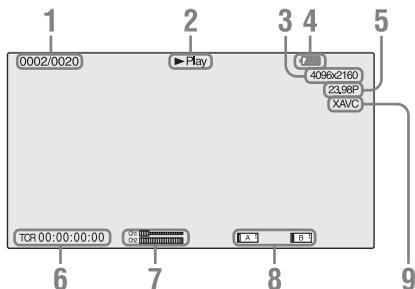
27. システム周波数とスキャン方式表示

28. 記録フォーマット (画サイズ) 表示 (29ページ)

XQDメモリーカードに記録される画サイズを表示します。

再生中の画像に表示される情報

再生画像には、次のような情報が重ねて表示されます。



1. クリップ番号/クリップ総数

2. 再生モード表示

3. 再生フォーマット (画サイズ) 表示

4. バッテリー残量表示

5. 再生フォーマット (フレームレート) 表示

6. タイムデータ表示

LCD/VFメニューのDisplay On/OffのTimecodeがOnのとき、画面を表示した状態でDISPLAYボタンを押すと表示されます。

7. オーディオレベル表示

記録時のオーディオレベルを表示します。

8. メディア表示

メモリーカードがプロテクトされている場合は、左に🔒マークが表示されます。

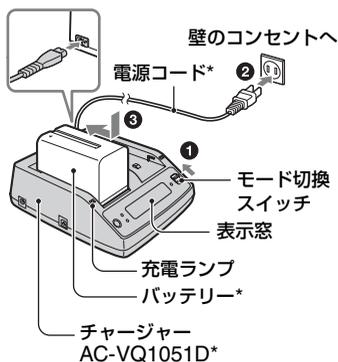
9. 再生フォーマット (コーデック) 表示

バッテリーを充電する

別売のアクセサリキットの取扱説明書もあわせてご覧ください。
専用の“インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)をチャージャーに取り付けて充電します。

ご注意

- 高容量バッテリー NP-F970 (別売) がお使いいただけません。NP-F570、NP-F770はお使いいただけません。



* 別売のACCKIT-D12B に付属

ご注意

- AC-VQ1051Dを本機の外部電源として使用することはできません。コンセントにつないで使うときは、付属のACアダプターをご使用ください。

- 1 モード切換スイッチを「CHARGE」にする。
- 2 電源コードをチャージャーとコンセントにつなぐ。
- 3 バッテリーを押しながら、矢印の方向にずらして取り付ける。
充電ランプが点灯し、充電が始まります。

充電が終わると

表示窓のバッテリーマークがすべて点灯します(「」実用充電)。

充電ランプが消え、表示窓に「FULL」が表示されるまで充電を続けると、若干長く使えます(満充電)。

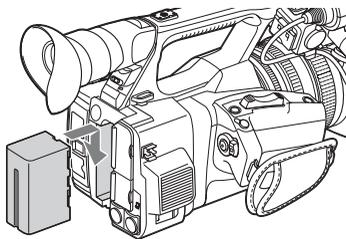
充電が終わったら、バッテリーをチャージャーから取りはずしてください。

ご注意

- チャージャーはお手近なコンセントをお使いください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電が完了してCHG(充電)ランプが消えても電源から遮断されません。

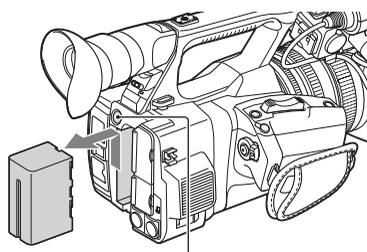
バッテリーを取り付けるには

バッテリーを押しながら、下にずらして取り付ける。



バッテリーを取りはずす

POWERスイッチを「OFF」にする。BATT RELEASEボタンを押しながら、バッテリーを取りはずす。



BATT RELEASEボタン

ご注意

- メニューの設定や、AUTO/MANUALスイッチを使った設定は、POWERスイッチをOFFにすると保存されます。液晶画面やファインダーの表示が完全に消えてから、バッテリーやACアダプターを取りはずしてください。途中で取りはずすと設定が元に戻る可能性があります。
- POWERスイッチをONにしたままでバッテリーやACアダプターを取りはずすと、再度バッテリーやACアダプターを取り付けても電源が入りません。POWERスイッチを一旦「OFF」にして、再度「ON」にしてください。

バッテリーを保管する

長い間使わないときは、バッテリーを使い切ってから保管してください。（保管について詳しくは58ページをご覧ください。）

充電時間

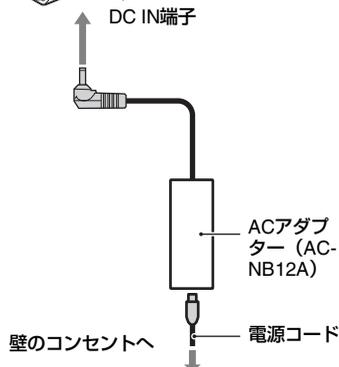
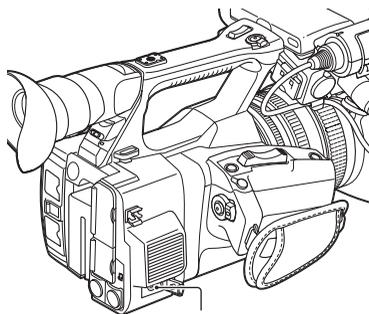
チャージャーの取扱説明書を参照してください。

バッテリーについて

- バッテリーの交換は、POWERスイッチを「OFF」にしてから行ってください。

コンセントにつないで使う

バッテリーが切れることを心配しないで使えます。



- 1 電源コードをACアダプターにつなぐ。
- 2 ACアダプターを本体のDC IN端子につなぐ。
- 3 電源コードをコンセントにつなぐ。

ACアダプターについて

- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターのプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターをつないで本体を充電することはできません。

時計を合わせる

本機を初めて使用するときやバックアップ電池が放電してしまった後に、初めて本機の電源を入れるとビューファインダー画面と液晶画面に初回設定画面が表示されます。この画面を使用して内蔵時計の日付/時刻を設定してください。

Time Zone について

UTC（協定世界時）からの時差を設定します。必要に応じて変更してください。

日付/時刻を設定する

SEL/SETダイヤル（9ページ）を回して項目や数値を選び、SEL/SETダイヤルを押して決定すると、時計が動き始めます。

設定画面が消えた後は、SystemメニューのClock Set（51ページ）を使用してTime Zoneおよび日時の変更をすることができます。

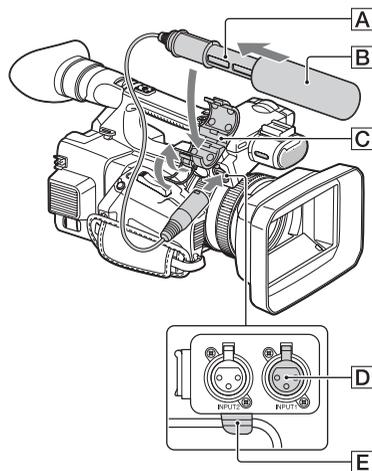
ご注意

- 動作電源が供給されていない（バッテリーパックもDC IN電源も接続されていない）状態でバックアップ電池が消耗するなどして現在日時の情報が失われた場合は、次に電源を入れると初回設定画面が表示されます。
- 初回設定画面が表示されている状態では、この画面での設定が完了するまで電源を切る以外の操作はできません。

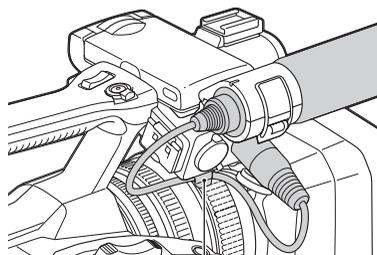
機器を取り付ける

マイクを取り付ける

付属のマイク（ECM-XM1）を使って音声を記録するときは、次の手順を行ってください。

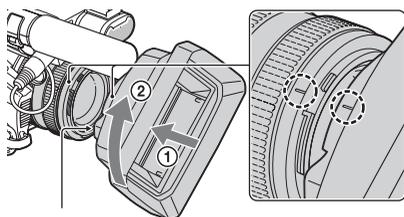


- 1 付属のマイク **A** にウインドスクリーン **B** をかぶせる。
- 2 マイク **A** を、型名が上になるようにマイクホルダー **C** に取り付ける。
- 3 マイクケーブルをINPUT1端子 **D** につなぐ。
- 4 マイクケーブルをケーブルホルダー **E** に取り付ける。



外側のホルダーに取り付ける。

レンズカバー付きフードを取り付ける

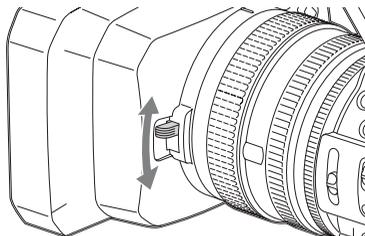


PUSH (レンズフード取りはずし) ボタン

本体とフードの印を合わせて、矢印②の方向にロックされるまで回す。

レンズカバーを開閉する

レンズカバーを開けるときはレンズカバーレバーを「OPEN」に、閉じるときは「CLOSE」に動かす。



レンズカバー付きフードを取りはずす

PUSH (レンズフード取りはずし) ボタンを押しながら、取り付けた方向と反対方向に回す。

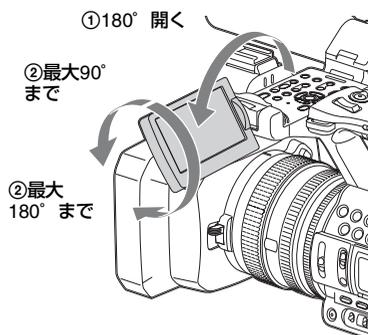
ご注意

- $\Phi 72\text{mm}$ の偏光フィルターや保護フィルターの取り付け/取りはずしの際は、レンズカバー付きフードを取りはずしてください。

液晶画面とファインダーを調節する

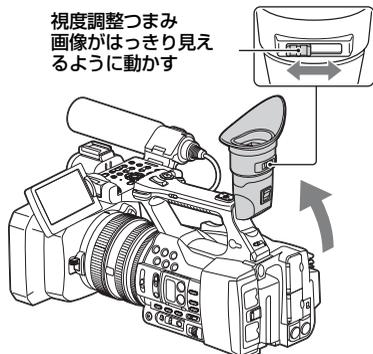
液晶画面を見やすく調節する

液晶画面を 180° に開ききった状態 (①) で、見やすい角度に調節する (②)。



- 対面撮影にも活用できます。液晶画面には左右反転して映りますが、実際には左右正しく録画されます。
- 液晶画面のバックライトの明るさは、LCD/VFメニューのLCD SettingのLCD Backlightで切り換えます (45ページ)。

ファインダーを見やすく調節する



ご注意

- ビューファインダー内で視線を動かした場合などに原色が見えることがあります。故障ではありません。また、原色が実際に記録メディアに記録されることはありません。

ファインダーのバックライトの明るさは、LCD/MFメニューのVF SettingのVF Backlightで切り換えます（45ページ）。

XQDメモリーカードを使う

本機では、撮影した映像・音声を、カードスロット内のXQDメモリーカード（別売）に記録します。

XQDメモリーカードについて

本機では、下記のソニー製XQDメモリーカードをご使用ください。

XQDメモリーカード Sシリーズ（R/W：180MB/s*）

- * Read/Write 180MB/sの記載があるXQDメモリーカードをご使用ください。それ以外のXQDメモリーカードはご使用になれません。

ソニー製XQDメモリーカード以外のメモリーカードをご使用の場合、動作の保証はいたしかねます。

- ◆XQDメモリーカードの使いかたや使用上のご注意について詳しくは、XQDメモリーカードの取扱説明書をご覧ください。

XQDメモリーカードを入れる

- 1 カードスロット部のカバーを開ける。
- 2 XQDメモリーカードを、XQDのラベルを左にして「カチッ」というまで押し込む。
アクセスランプ（8ページ）が赤く点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。
- 3 カバーを閉める。

ご注意

- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。

XQDメモリーカードを取り出す

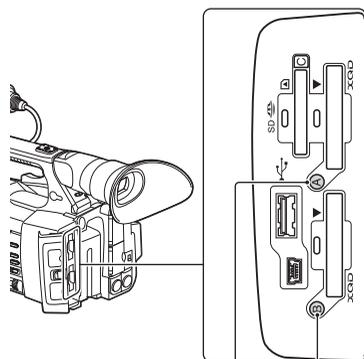
カードスロット部のカバーを開け、XQDメモリーカードを軽く1回押して取り出す。

ご注意

- メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ず使用するメモリーカードのアクセスランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。
- 記録終了後にXQDメモリーカードを取り出した際、XQDメモリーカードが熱くなっている場合がありますが故障ではありません。

記録するメモリーカードスロットを選択する

記録したいメモリーカードが入ったメモリーカードスロット AまたはBボタンを押す。選択されているスロットのアクセスランプが緑色に点灯します。



メモリーカードスロット
Aボタン

メモリーカードスロット
Bボタン

ご注意

- メモリーカードが挿入されているスロットのみ選択可能です。

- メモリーカードへの動画の記録中に、メモリーカードスロット A/Bボタンを押しても、スロットの切り換えはできません。

- メモリーカードが1枚だけ挿さっているときは、メモリーカードが挿さっているスロットが自動的に選択されます。
- 録画中にメモリーカードの容量がいっぱいになった場合、もう一方のスロットにメモリーカードが挿入されていれば、自動で切り換わります。

XQDメモリーカードをフォーマット（初期化）する

フォーマットされていないXQDメモリーカード、または別の仕様でフォーマットされたXQDメモリーカードを装着すると、メッセージ「フォーマットが必要なメディアです」が液晶画面/ビューファインダー画面に表示されます。

下記の手順に従ってフォーマットしてください。

MediaメニューのFormat Media（49ページ）で、Media(A)（スロットA）かMedia(B)（スロットB）かを指定し、Executeを選択する。確認メッセージが表示されたら、もう一度Executeを選択する。

実行中メッセージと進捗状況が表示され、アクセスランプが赤く点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されますので、SEL/SETダイヤルを押して画面を消します。

フォーマットできなかったときはプロテクトされたXQDメモリーカードや本機で使用できないメモリーカードはフォーマットされません。警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、使用できるXQDメモリーカードに交換してください。

ご注意

- メモリーカードをフォーマットすると、記録された映像データ、セットアップファイルなどを含む、すべてのデータが消去されます。

残りの記録可能時間を確認する

撮影中（記録中/記録待ち中）は、液晶画面/ビューファインダー画面（12ページ）のA/Bスロットメディア状態/残量表示部で、各スロットに装着したXQDメモリーカードの残量を確認することができます。

現在設定されているビデオフォーマット（記録ビットレート）で撮影した場合に記録可能な時間を、それぞれのスロット内のメディアの残量から計算して分単位で表示します。

ご注意

- メモリーカードがプロテクトされている場合は、マークが表示されます。

XQDメモリーカードの交換時期

- 記録中に2枚のメモリーカードの残記録可能時間の合計が5分をきると、警告メッセージ「メディア残量がわずかです」（Media Near Full）が表示され、録画ランプの点滅とブザー音（ヘッドホン出力）で警告します。
空きのあるメディアに交換してください。
- 記録を継続して、残記録可能時間の合計が0になると、メッセージが「メディア残量がありません」（Media Full）に変わり記録が停止します。

ご注意

- 1枚のXQDメモリーカードに約600個までのクリップを記録できます。
記録できるクリップ数の上限に達すると、残時間表示が「0」になり、メッセージ「メディア残量がありません」（Media Full）が表示されます。

USBワイヤレスLANモジュールを使う

本機にUSBワイヤレスLANモジュール IFU-WLM3（付属）を取り付けると、スマートフォンやタブレットなどのデバイスと本機をWi-Fi接続することができます。

ご注意

- IFU-WLM3以外のUSBワイヤレスLANモジュールは使用できません。

Wi-Fi接続されたデバイスと本機の間では、以下の操作が可能です。

- 本機の記録、再生制御
- 本機の現在の情報（ステータス）の表示
- 本機の撮影設定、システム設定の切り換え
- 本機のアサインブルボタンの操作
- 本機のIris、Focus、Zoomの操作

IFU-WLM3を取り付ける

- 1 USBワイヤレスLANモジュール格納部（9ページ）のカバーを開ける。
- 2 IFU-WLM3をUSB端子に差し込む。
- 3 カバーを閉じる。

ご注意

- 一度取り付けたIFU-WLM3を簡単に取りはずすことはできません。取り付けたままでご使用ください。

Wi-Fi接続する

ご注意

- 同時に接続できるWi-Fi機器は1台のみです。

ネットワークを設定する

必要に応じて、SystemメニューのBasic Authentication（51ページ）の設定を変更します。

項目	設定内容
User Name	ログインするときのユーザー名 (工場出荷時の設定: admin)
Password	ログインするときのパスワード (工場出荷時の設定: 機種名 「pxw-z100」)

メニューの設定および文字列の入力については、「セットアップメニューの操作方法」(40ページ)をご覧ください。

接続する

- 1 SystemメニューのWi-Fi（51ページ）で、Wi-FiをEnableに設定する。**
- 2 デバイス側でSSIDとPasswordを入力して接続するか、Wi-Fiダイレクトを用いて接続する。**
本機のSSIDおよびパスワードについては、SystemメニューのWi-Fi（51ページ）の、SSID & Passwordでご確認ください。
Wi-Fiダイレクトで接続する場合は、以下の手順を行います。
- 3 SystemメニューのWi-Fiの、Wi-Fi Direct ConnectionでExecuteを選んで決定する。**
セットアップメニューが消えて、Wi-Fiダイレクトによる接続待機のメッセージが表示されます。

プッシュボタン方式による接続

デバイス側でプッシュボタン方式による接続を行うと、接続待機画面に接続許可を求めるメッセージが表示されますので、Executeを選んで決定します。

PINコード方式による接続

デバイス側からPINコード方式による接続を行うと、接続待機画面にデバイスの機器名およびPINコードが表示されます。デバイスにPINコードを入力して、本機との接続を完了させてください。

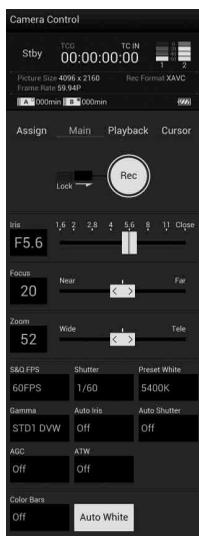
Wi-Fiリモコンを使用する

Wi-Fi接続時は、スマートフォンやタブレットなどのデバイスから、本機に内蔵されたWi-Fiリモコンにアクセスすることができます。

Wi-Fiリモコンを使用すると遠隔から本機を操作できます。記録の開始/停止や撮影設定を遠隔操作で調整できるため、本機を離れた場所に固定する場合や、本機をクレーンに装着して使用する場合などに有効です。

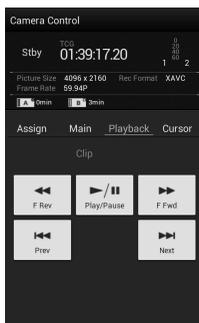
Wi-Fi Remote 画面 (スマートフォン)

Main画面



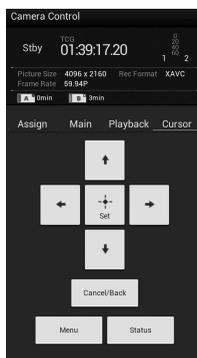
- 撮影設定表示
S&Q FPS、Shutter、Preset White、Gamma、Auto Iris、Auto Shutter、AGC、ATW、Color Bars、Auto White

Playback画面



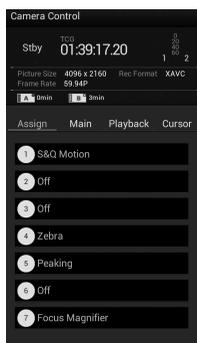
- ステータス表示
- 再生操作ボタン
F Rev、Play/Pause、F Fwd、Prev、Stop、Next

Cursor画面



- ステータス表示
- カーソル操作ボタン、メニュー/ステータス表示
Up、Left、Set、Right、Down、Cancel/Back、Menu、Status

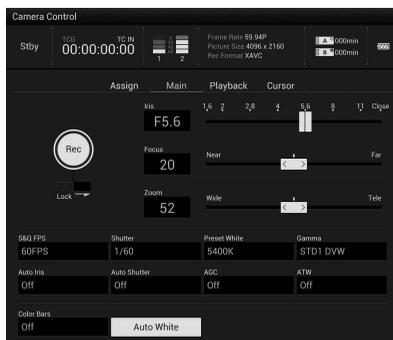
Assign画面



- ステータス表示
- アサインボタン表示
アサインボタン1～7

Wi-Fi Remote 画面 (タブレット)

Main画面

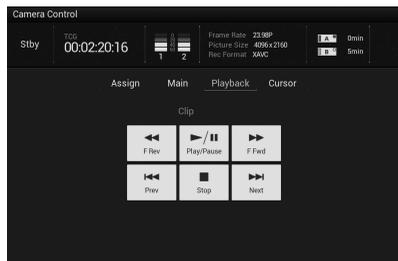


- アサインボタン表示
アサインボタン1～7

● 撮影設定表示

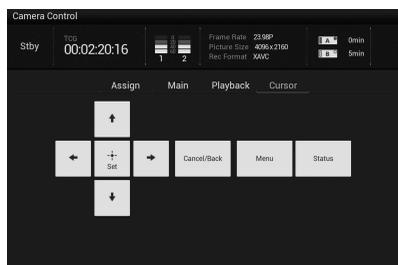
S&Q FPS、Shutter、Preset White、Gamma、Auto Iris、Auto Shutter、AGC、ATW、Color Bars、Auto White

Playback画面



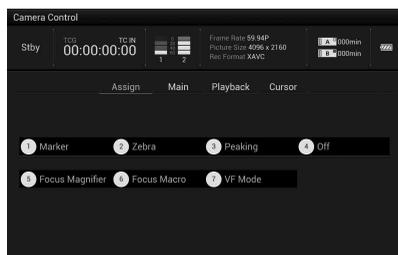
- ステータス表示
- アサインボタン表示
- 再生操作ボタン
F Rev、Play/Pause、F Fwd、Prev、Stop、Next

Cursor画面



- ステータス表示
- アサインボタン表示
- カーソル操作ボタン、メニュー /ステータス表示
Up、Left、Set、Right、Down、Cancel/Back、Menu、Status

Assign画面



- アサインボタン表示
アサインボタン1〜7

Wi-Fiリモコンを表示する

Wi-Fi Remote 画面は、デバイスの画面サイズに応じて自動で切り換わります。

- 1 本機とデバイスをWi-Fi接続（21ページ）する。
- 2 デバイスでブラウザを起動し、「<http://本機のIPアドレス（Systemメニュー→Wi-Fi→IP Address）/rm.html>」にアクセスする。
例：IPアドレスが「10.0.0.1」の場合は、アドレスバーに「<http://10.0.0.1/rm.html>」と入力します。
- 3 ブラウザ画面に、ユーザー名とパスワード（Systemメニュー→Basic Authentication→User NameおよびPassword）を入力する。

接続が完了すると、デバイスにWi-Fi Remote画面が表示されます。

以降は、画面表示のとおりに操作してください。

Lockつまみを右にスライドすると、RECボタンの操作を禁止することができます。

ご注意

- スマートフォン用のページを表示したい場合は、アドレスの最後を「rms.html」に、タブレット用のページを表示したい場合は「rmt.html」に置き換えて入力してください。通常は「rm.html」と入力すれば、各ページに自動的に移動します。デバイスによっては正常に動作しない場合があります。
- 次の場合は、Wi-Fi Remote画面と本機の状態が一致なくなることがあります。その場合は、ブラウザの表示を更新してください。
 - 接続中に本機を再起動した場合
 - 接続中に本機を操作した場合
 - デバイスを再接続した場合
 - ブラウザで進む/戻るを操作した場合
- 電波状態が著しく悪い場合、Wi-Fi Remoteが機能しなくなることがあります。

対応デバイスについて

Wi-Fiリモコンとして使用できるデバイス、OS、ブラウザは以下のバージョン以降です。

デバイス	OS	ブラウザ
スマートフォン	Android 4.0/ 4.1/4.2	Chrome V26
	iOS 5	Safari 5
	iOS 6	Safari 6
タブレット	Android 4.0/ 4.1/4.2	Chrome V26
	iOS 5	Safari 5
	iOS 6	Safari 6

UTILITY SDカードを使う

本機では、カメラの設定値ファイルをSDカード（別売）に保存することができます。保存したファイルはSDカードから読み込んで使用できます。

本機で使用可能なSDカード

SDHCメモリーカード*（Speed Class：4～10/UHS非対応/容量：2～32GB）

SDメモリーカード*（File system：FAT16/容量：2GBまで）

* 本書ではSDカードと表現しています。

SDカードを入れる

- UTILITY SD/HDMI（7ページ）のカバーを開ける。**
- UTILITY SDカードのラベルを右にしてカードスロットに差し込む。**
アクセスランプ（8ページ）が赤く点灯し、使用可能な状態になると消灯します。
- カバーを閉める。**

SDカードを取り出す

カードスロット部のカバーを開け、SDカードを軽く1回押して取り出す。

ご注意

- メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ず使用するメモリーカードのアクセスランプが消灯していることを確認してから操作してください。
- 出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。

SDカードをフォーマット（初期化）する

本機で初めてSDカードを使用するときは、フォーマットが必要です。

本機で使用するSDカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。SDカードを装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。

MediaメニューのFormat Media（49ページ）で、SD Cardを指定し、Executeを選択する。確認メッセージが表示されたら、もう一度Executeを選択する。

実行中メッセージと進捗状況が表示され、アクセスランプが赤く点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されますので、SEL/SETダイヤルを押して画面を消します。

ご注意

メモリーカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去され、復元できません。

残容量を確認する

メディア状態画面（10ページ）を表示させると、SDカードの残量を確認することができます。

ご注意

メモリーカードがプロテクトされている場合は、マークが表示されます。

本機でフォーマットしたメディアを他の機器のロットで使用するには

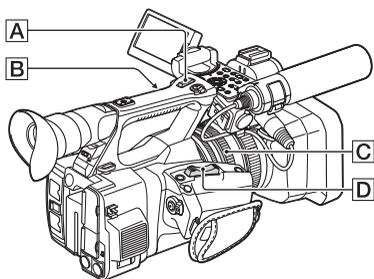
あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。

基本操作手順

基本的な撮影は次の手順で行います。

- 1 必要な機器が取り付けられ、電源が供給されていることを確認する。
- 2 必要なメモリーカードを入れる。
XQDメモリーカードは2枚入れておくと、1枚目がフルになった時点で自動的に2枚目に切り換わります。
- 3 レンズカバー付きフードのシャッターを開ける。
- 4 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチをONにする。
液晶画面/ビューファインダーに撮影画面が表示されます。
- 5 録画ボタン（7ページ）を押す。
録画ランプが点灯して、記録が始まります。
- 6 記録を終了するときには、もう一度録画ボタンを押す。
記録が停止し、本機はSTBY（記録待機）モードになります。

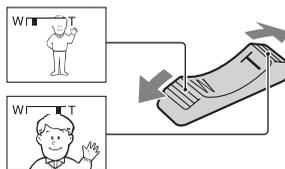
ズームする



ズームレバーを使う

ズームレバー **D** を軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームします。

広角：Wide（ワイド）



望遠：Telephoto（テレフォト）

- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。
- 被写体との距離が80cm以内の被写体は、ズーム位置によってはピントが合わないことがあります。
- CameraメニューのFocusのFocus MacroがOffのときは、ズーム位置によらず、80cm以内の被写体にはピントが合いません（41ページ）。
- ズームレバー **D** から指を離さずに操作してください。指を離すとズームレバー **D** の操作音が記録されることがあります。
- ズームレバー **D** やハンドルズームレバー **A** のズーム駆動速度をCameraメニューのSpeed ZoomのSettingで切り換えます。

ハンドルズームを使う

1. ハンドルズームスイッチ **B** を「VAR」または「FIX」にする。
 - 「VAR」にすると押し具合によってズームスピードが変化します。
 - 「FIX」にすると押し具合に関わらず固定スピードで動きます。CameraメニューのHandle Zoom（42ページ）のSettingでスピードを切り換えます。
2. ハンドルズームレバー **A** を押してズームする。

ご注意

- ハンドルズームスイッチ **B** が「OFF」になっていると、ハンドルズームレバー **A** は使えません。
- ハンドルズームスイッチ **B** で本体のズームレバー **D** の速さを変えることはできません。

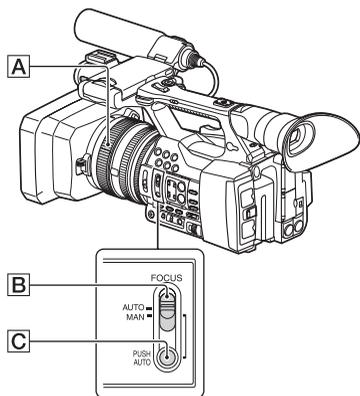
ズームリングを使う

ズームリング[C]を回して好みの速さでズームすることができます。微調整も可能です。

ご注意

- ズームリング[C]は適度な速さで回してください。速すぎると、ズームリング[C]の回転に追いつかないことがあります。また、ズームの駆動音が記録されることがあります。

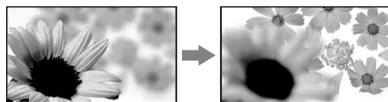
ピントを手動調節する



撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。

以下のようなときに使います。

- 水滴の付いた窓の向こうの被写体
- 横じまの多い被写体
- 背景とコントラストの弱い被写体
- 意図的にピントを手前の被写体から奥の被写体に送るとき



— 三脚で撮影する静止した被写体

1 撮影またはスタンバイ中に、FOCUSスイッチ[B]を「MAN」にする。

フォーカスモードの表示が「MF」に変わります。

2 フォーカスリング[A]を回し、ピントが合うように調節する。

ピント合わせのコツ

- 始めにズームをT側（望遠）でピントを合わせてから、W側（広角）に戻していきます。
- 接写時は、逆にズームをW側（広角）いっぱいにしてピントを合わせます。

自動調節にするには

FOCUSスイッチ[B]を「AUTO」にする。フォーカスモード表示が「AF」になり自動調節になります。

一時的にオートフォーカスで撮る（プッシュオートフォーカス）

PUSH AUTOボタン[C]を押したまま撮影する。

指を離すと手動ピント合わせに戻ります。手動ピント合わせで、ある被写体から別の被写体にピントを移すようなときに使うと、なめらかな場面展開になります。

- 次のとき、フォーカス距離情報（ピントが合う距離。暗くてフォーカスが合わせにくいときに目安として使用します）を約3秒間表示します。（別売のコンバージョンレンズを付けているときは正しく表示されません。）

— 「MF」が表示されている場合にフォーカスリングを回したとき

拡大表示をしてピントを合わせる（ピント拡大）

初期状態ではASSIGN7ボタンにFocus Magnifierが割り当てられています（35ページ）。

ASSIGN7ボタンを押す。

ピント拡大画面に切り換わり、画面中央が約2.0倍に拡大されます。ピントが合っているかを確認するときに便利です。もう一度押すと元に戻ります。

ご注意

- ピント拡大で表示されていても、記録される画像は拡大されません。

記録したクリップを再生する

本機が記録停止中（Stby）のときは、記録したクリップを再生することができます。

1 再生するXQDメモリーカードを入れる。

- 再生操作ボタンのPLAY/PAUSEボタンを押す。
- PREVボタンまたはNEXTボタンを押して、再生したいクリップの頭出しをする。
- PLAY/PAUSEボタンを押す。
ビューファインダー画面に再生画が表示されます。

再生操作は次のボタンで行います。

PLAY/PAUSEボタン：再生を一時停止します。

もう一度押すと再生モードに戻ります。

F FWDボタン/F REVボタン：高速再生します。

PLAY/PAUSEボタンを押すと標準再生に戻ります。

STOPボタン：再生を停止し、記録停止状態にします。

音声を聞く

標準再生モードでは、記録されている音声をヘッドホンでモニターできます。

モニターするチャンネルの選択および音量の調整は、AudioメニューのAudio Output (44ページ)で行います。

頭出しする

クリップの先頭から再生するには

再生操作ボタンのPREVボタンまたはNEXTボタンを押して頭出しします (9ページ)。複数回押すことで、クリップを飛ばして頭出しすることができます。

XQDメモリーカードを切り換える

XQDメモリーカードが2枚装着されているときは、選択ボタン (8ページ) を押して切り換えます。

ご注意

- 再生中にXQDメモリーカードを切り換えることはできません。
またスロットAからスロットBへの連続再生はできません。

クリップ (記録データ)

記録を停止すると、開始から停止までの画像・音声と付随データが、ひとつの「クリップ」としてXQDメモリーカードに記録されます。

クリップ名について

本機で記録されるクリップには、Clipと「4桁の番号」で自動的にクリップ名がつけられます。「4桁の番号」部分は、記録順に自動的にカウントアップされます。

クリップの最大時間

クリップの最大時間は13時間です。動画の連続撮影可能時間も、約13時間です。録画時間が約13時間に達すると、録画が停止します。

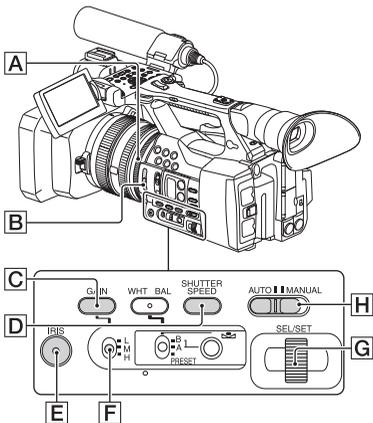
基本設定を変更する

映像の用途や撮影の状況に応じて、設定を変更します。

記録フォーマット

選択できるフォーマットは、使用地域 (Country) の設定によって異なります。SystemメニューのRec Format (50ページ) の、Video Formatで切り換えます。

明るさを調節する



アイリス、ゲイン、シャッタースピードを調節したり、ND FILTERスイッチ **B** を使って光量を調節したりして、明るさを調節できます。

アイリスを調節する

レンズに入る光量を F 1.6~F 11、クローズ (**CLOSE**) の範囲で調節できます。絞りを開く (アイリス値を小さくする) と光量が増えます。絞りを閉じる (アイリス値を大きくする) と、光量が減ります。画面にアイリス値が表示されます。

1. 撮影またはスタンバイ中に、**AUTO/MANUAL**スイッチ **H** を「**MANUAL**」にする。
2. アイリスが自動調節になっているときは、**IRIS**ボタン **E** を押す。アイリス値が表示されます。「**A.Iris**」のときは「**A.Iris**」が表示されます。
3. **アイリスリング** **A** を回して調節する。
 - アイリス値を F3.4 よりも絞りを開いた (アイリス値が小さい) 値 (例: F1.6) に設定してもズームが W→T になるにつれてアイリスは F3.4 に変化します。
 - 絞りの重要な効果であるピントの合う範囲のことを「被写界深度」といいます。被写界深度は絞りを開けると浅く (ピントの合う範囲が狭く) なり、絞りを閉じると深く (ピントの合う範囲が広く) なります。撮影の意図によって絞りの効果を上手に使い分けてください。
 - 背景をぼけさせたり、くっきりさせたりしたいときに便利です。

自動調節にするには

IRISボタン **E** を押す。または、**AUTO/MANUAL**スイッチ **H** を「**AUTO**」にする。アイリス値の横に「**A.Iris**」が表示されます。

ご注意

- **AUTO/MANUAL**スイッチ **H** を「**AUTO**」にすると、他の手動調節 (ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランス) も解除されます。

ゲインを調節する

AGC (オートゲインコントロール) によるゲインアップを行いたくないときなどに使います。

1. 撮影またはスタンバイ中に、**AUTO/MANUAL**スイッチ **H** を「**MANUAL**」にする。
2. **ゲイン**が自動調節になっているときは、**GAIN**ボタン **C** を押す。「**AGC**」が表示されます。
3. **ゲイン**スイッチ **F** で **H/M/L** を選択する。設定されたゲイン値が表示されます。H/M/Lの値は、CameraメニューのGainで設定します (41ページ)。

自動調節するには

GAINボタン[C]を押す。または、AUTO/MANUALスイッチ[H]を「AUTO」にする。ゲイン値が消えます。ゲイン値の横に「AGC」が表示されます。

ご注意

- AUTO/MANUALスイッチ[H]を「AUTO」にする
と、他の手動調節（アイリス、シャッタースピード、ホワイトバランス）も解除されます。

シャッタースピードを調節する

シャッタースピードを自由に調節し、固定できます。被写体の動きを止めたり、逆に流動感を強調して撮影するときに便利です。

1. 撮影またはスタンバイ中に、**AUTO/MANUALスイッチ[H]**を「**MANUAL**」にする。
 2. **SHUTTER SPEEDボタン[D]**を押して、シャッター値を表示させる。
 3. **SEL/SETダイヤル[G]**を回して、シャッター値を調節する。
NTSC Areaのときは1/4秒～1/9000秒、PAL Areaのときは1/3秒～1/9000秒から選べます。
シャッター値が画面に表示されます。例えば、1/100秒のときは「1/100」と表示されます。分母の数値が大きくなるほどシャッタースピードが速くなります。
 4. **SEL/SETダイヤル[G]**を押して、シャッター値を固定する。
再度変更したい場合は、手順2から4を行います。
- 設定できるシャッタースピードの範囲は、フレームレートに依存します。
 - シャッタースピードが遅いと、自動でピントが合いにくくなります。三脚などに固定して、手動でピントを合わせることをおすすめします。
 - 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明下で撮影すると、画面に横筋が見えたり、画面が明滅したり、色が変化したりすることがあります。このようなときは、シャッタースピードを関東地方など50Hzの地域では1/100、関西地方など60Hzの地域では1/60に設定することをおすすめします。

自動調節するには

シャッタースピード固定状態からSHUTTER SPEEDボタン[D]を2回押す。または、AUTO/MANUALスイッチ[H]を「AUTO」にする。

シャッター値が消えます。オート時には「A.SHT」が表示されます。

ご注意

- AUTO/MANUALスイッチ[H]を「AUTO」にする
と、他の手動調節（アイリス、ゲイン、ホワイトバランス）も解除されます。

光量を調節する（NDフィルター）

撮影状況が明るすぎるときは、ND FILTER スイッチ[B]を使うと被写体を鮮明に撮影できます。

OFF：NDなし

- 1：光量を1/4に減少させる。
- 2：光量を1/16に減少させる。
- 3：光量を1/64に減少させる。

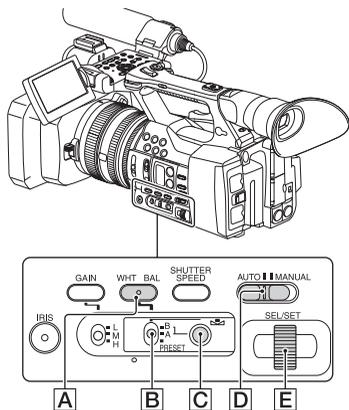
アイリスを自動調整しているときは、Video Level Warningが表示されます。ND OFFが点滅したときは、ND FILTER スイッチ[B]を「OFF」にしてください。ND フィルター表示が消えます。

ご注意

- 撮影中にND FILTERスイッチを切り換えると、画像が乱れたり音声にノイズが入ることがあります。
- アイリスを手動で調節しているときは、NDフィルターの設定が必要な場合でも、Video Level Warning表示が出ません。

明るい被写体を撮影するとき、アイリスを極端に絞ると回折現象が生じピントが甘くなることがあります（ビデオカメラでは一般的に起こる現象です）。ND FILTER スイッチ[B]を使うと、この現象を抑え、より良好な撮影結果を得ることができます。

自然な色合いに調節する（ホワイトバランス）



撮影する場面の光に合わせてホワイトバランスを固定するときに使います。

A (☞A)、またはB (☞B) を選ぶと、ホワイトバランスの調整値をメモリーAとBに個別に記憶させることができます。調整値は、再調整しない限り電源を切っても保持されます。

「PRESET」を選ぶと、あらかじめPaintメニューのWhiteのPreset Whiteで選んだ「Outdoor」、「Indoor」、「Color Temp.」のいずれかが設定されます。

1 撮影またはスタンバイ中に、**AUTO/MANUAL**スイッチ**D**を「**MANUAL**」にする。

2 **WHT BAL**ボタン**A**を押す。

3 ホワイトバランスメモリースイッチ**B**を、**PRESET/A/B**のいずれかにセットする。

A/Bは、それぞれメモリーA/メモリーBに記憶させた調整値で撮影するときに設定します。

表示	撮影状況例
☞A (メモリーA)	<ul style="list-style-type: none"> メモリーA/Bそれぞれに、光源に合わせたホワイトバランスの調整値を記憶させることができます。「メモリーA、Bにホワイトバランスの調整値を記憶させるには」の手順に従ってください(31ページ)。
☞B (メモリーB)	
☀ 屋外 (Outdoor)	<ul style="list-style-type: none"> 夜景やネオン、花火などを撮るとき 日の出、日没などを撮るとき 屋光色蛍光灯の下
☂ 屋内 (Indoor)	<ul style="list-style-type: none"> パーティー会場など照明条件が変化する場所 スタジオなどビデオライトの下 ナトリウムランプや水銀灯の下
色温度設定 (Color Temp.)	<ul style="list-style-type: none"> 2300K~15000Kの範囲で、お好みの色温度を設定できます(お買い上げ時の色温度は、3200K)。

- ホワイトバランスメモリースイッチ**B**を「**PRESET**」にして、PaintメニューのWhiteのPreset WhiteをColor Temp.に設定しているときに、☞ (one push) ボタン**C**を押してSEL/SETダイヤル**E**を回すと、色温度の値を変更できます。WHT BALボタン**A**と☞ (one push) ボタン**C**を押しても設定画面が開きます。

メモリーA、Bにホワイトバランスの調整値を記憶させるには

- 「自然な色合いに調節する（ホワイトバランス）」の手順3でA (☞A) またはB (☞B) を選ぶ。
- 被写体と同じ照明条件のところで、白い紙などを画面いっぱいに映す。
- ☞ (one push) ボタン**C**を押す。
☞Aまたは☞Bが早い点滅に変わります。ホワイトバランスが調節されると、点滅から点灯に変わり、選んだ☞Aまたは☞Bに調整値が記憶されます。

ご注意

- 撮影条件によって、ホワイトバランスの調整に時間がかかることがあります。調整終了前に他の操作を行いたいときは、ホワイトバランスメモリースイッチ[B]を一時的に他の位置へセットして、ホワイトバランスの調整を中止してください。

自動調節に戻すには

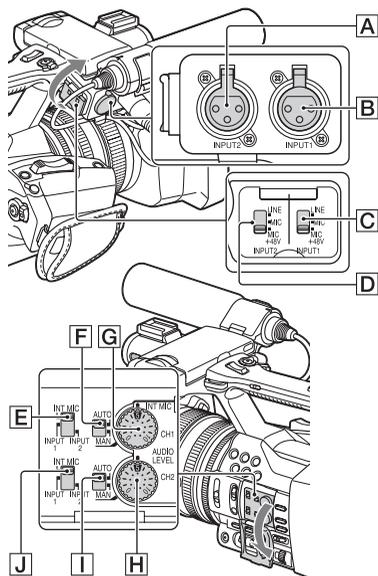
WHT BALボタン[A]を押す。または、AUTO/MANUALスイッチ[D]を「AUTO」にする。

ご注意

- AUTO/MANUALスイッチ[D]を「AUTO」にする時、他の手動調節（アリス、ゲイン、シャッタースピード）も解除されます。

音の設定をする

下の端子やスイッチ、ダイヤルなどを使い、収録する音声を設定します。マイクの接続については、16ページをご覧ください。



外部音声の入力端子と切り換えスイッチ

- INPUT 1端子[B]
- INPUT 2端子[A]
- INPUT 1スイッチ[C]
- INPUT 2スイッチ[D]

音源の設定用スイッチ

CH1 (INT MIC/INPUT1/INPUT2) スイッチ[E]

CH2 (INT MIC/INPUT1/INPUT2) スイッチ[J]

音源レベルの設定用スイッチ

CH 1 (AUTO/MAN) スイッチ[F]

CH 2 (AUTO/MAN) スイッチ[I]

AUDIO LEVEL (CH1) ダイヤル[G]

AUDIO LEVEL (CH2) ダイヤル[H]

内蔵マイクを使う

本体内蔵マイクを用いて、ステレオ音声を収録できます。

CH1 (INT MIC/INPUT1/INPUT2) スイッチとCH2 (INT MIC/INPUT1/INPUT2) スイッチを「INT MIC」にする。

- 音が小さいときは、AudioメニューのAudio InputのINT MIC SensitivityをHighにしてください(44ページ)。
- 風切り音を低減するには、AudioメニューのAudio InputのINT MIC Wind FilterをOnにしてください(44ページ)。

付属のマイクで収録する

モノラル音声を収録できます。

1. 付属のマイクを取り付け(16ページ)、INPUT 1端子[B]につなぐ。
2. CH 1 (INT MIC/INPUT1/INPUT2) スイッチ[E]とCH 2 (INT MIC/INPUT1/INPUT2) スイッチ[J]を「INPUT 1」にする。
CH1とCH2の両方に同じ音声が記録されます。
3. INPUT 1スイッチ[C]を「MIC+48V」にする。

外部音声機器などを使う

付属マイク以外のマイクや外部音声機器を使う場合は、以下のように設定してください。

1. 入力する音源を選ぶ。

INPUT 1/INPUT 2端子に接続する機器に合わせて、INPUT 1/INPUT 2スイッチを設定します。

接続機器	スイッチの位置
外部音声機器（ミキサーなど）	LINE
ダイナミックマイクや電池内蔵のマイク	MIC
+48V電源（ファンタム電源）対応のマイク	MIC+48V

- MIC+48Vにしたままで+48V電源に対応していない機器を接続すると、接続した機器の故障の原因になります。接続前にご確認ください。
- 接続しない端子の雑音が気になるときは、INPUT 1/INPUT 2スイッチを「LINE」にしてください。

2. マイクの入力レベルを設定する。

- AudioメニューのAudio InputのINPUT1 Reference/INPUT2 Referenceでマイクの入力レベルを設定できます（44ページ）。マイクの感度に応じて調節してください。

3. 録音するチャンネルを選ぶ。

CH 1/CH 2スイッチで、それぞれのチャンネルに録音する音声を選びます。

CH1スイッチが「INT MIC」のとき

音源と録音されるチャンネル	CH2スイッチの設定
INT MIC (L) INT MIC (R)	→ CH1 → CH2
INT MIC (mono) INPUT 1	→ CH1 → CH2
INT MIC (mono) INPUT 2	→ CH1 → CH2

CH1スイッチが「INPUT1」のとき

音源と録音されるチャンネル	CH2スイッチの設定
INPUT 1 INT MIC (mono)	→ CH1 → CH2
INPUT 1	→ CH1 → CH2
INPUT 1 INPUT 2	→ CH1 → CH2

- CH1スイッチが「INPUT2」のときは、CH1にはINPUT2の音声記録されます。
- XLRプラグが2個付いているステレオマイクを使うときは、INPUT 1端子にL（左）チャンネル、INPUT 2端子にR（右）チャンネルを接続し、CH 1スイッチをINPUT 1、CH 2スイッチをINPUT 2に設定してください。

好みの音量に設定する

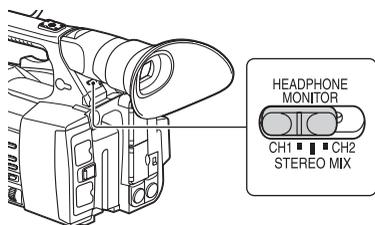
CH1/CH2スイッチ両方を「INT MIC」に設定した場合、CH 1 スイッチ・ダイヤルに左右のチャンネルが連動します。

1. 調節するチャンネルの**AUTO/MAN**スイッチ（**F**または**I**）を「**MAN**」にする。画面に♪Mが表示されます。
2. 撮影中またはスタンバイ中に、調節するチャンネルの**AUDIO LEVEL**ダイヤル（**G**または**H**）を回して、マイク音量を調節する。

自動調整に戻すには

手動調節したチャンネルの**AUTO/MAN**スイッチ（**F**または**I**）を「**AUTO**」にする。

ヘッドホンの音声を設定する



ヘッドホンの音声をCH1/CH2に切り換えます。「STEREO MIX」時の音声については、AudioメニューのAudio OutputのHeadphone Outをご覧ください（44ページ）。

タイムデータ

タイムコードを設定する

記録されるタイムコードは、TC/UBメニュー（48ページ）のTimecodeで設定します。

他機のタイムコードにロックさせる

タイムコード供給源となる機器は、タイムコード出力が更新されるモード（Free Run）に設定してください。

1 TC/UBメニューのTimecodeを次のように設定する。

Mode : Preset
Run : Free Run

2 TC LINK IN/OUTスイッチ（7ページ）がIN側になっていることを確認し、基準タイムコードを供給する。

これで本機のタイムコードジェネレーターが基準タイムコードにロックし、画面に「TC IN」と表示されます。外部からの基準タイムコードの接続をはずしても、外部ロック状態は保たれます。

ご注意

- 基準タイムコードの周波数と本機のフレーム周波数が同じでないと、正しくロックできず、本機が正常に動作できません。この場合、タイムコードも外部のタイムコードに正しくロックできません。
- 基準タイムコードを供給するときは、本機を撮影スタンバイ状態にしてください。
- 接続をはずした場合、基準タイムコードに対し1時間で数フレームずれる場合があります。

外部ロックを解除するには

TC/UBメニューのTimecodeの設定を変更してください。

特殊記録モードでの記録を開始した場合も、外部ロックは解除されます。

本機のタイムコードにロックさせる

1 TC/UBメニューのTimecodeを次のように設定する。

Mode : Preset
Run : Free Run

2 TC LINK IN/OUTスイッチ（7ページ）がOUT側になっていることを確認し、基準タイムコードを他機に供給する。

ご注意

- 記録フォーマットのフレームレートが23.98Pのとき、HDMI出力の設定を1920×1080iまたは720×480iに設定していると、本機のタイムコード出力は30フレームになります。24フレームにしたいときは、HDMI出力の設定を変更してください。

便利な機能

アサインابلボタン

本機には、機能を割り当てて使用できるアサインابلボタンが7個（5、6ページ）あります。

機能を変更する

SystemメニューのAssignable Button（50ページ）を使用します。

割り当てられた機能は、アサインابلボタンステータス画面（10ページ）で確認することができます。

お買い上げ時にアサインابلボタンに割り当てられている機能

ボタン1	Off
ボタン2	Off
ボタン3	Off
ボタン4	Zebra
ボタン5	Peaking
ボタン6	Off
ボタン7	Focus Magnifier

割り当てられる機能

- Off
- Marker（46ページ）
- Zebra（46ページ）
- Peaking（46ページ）
- Focus Magnifier（27ページ）
- Focus Macro（41ページ）
- VF Mode（50ページ）
- Auto Exposure Level（41ページ）
- SteadyShot（42ページ）
- Color Bars（41ページ）
- Rec Lamp[F]（50ページ）
- Rec Lamp[R]（50ページ）
- S&Q Motion（48ページ）
- Thumbnail（52ページ）

スロー&クイックモーション

ビデオフォーマット（29ページ）が下記に設定されているときは、記録時のフレームレートを再生時のフレームレートと異なる値に設定することができます。

XAVC 1920×1080 29.97P/25P/23.98P

シャッター値について

シャッター値が表の値より長い時間に設定されている状態でスロー&クイックモーションモードに変更した場合、シャッター値は自動的に下表の値に変更されます。

フレームレート	シャッター
23.98P	1/24
29.97P	1/30
25P	1/25
50P	1/50
59.94P	1/60

ご注意

- 記録中、再生中、サムネイル表示中は、スロー&クイックモーションモードにできません。
- スロー&クイックモーションモードでは、音声は記録できません。

サムネイル画面

THUMBNAILボタン（9ページ）を押すと、XQDメモリーカードに収録されているクリップが、サムネイル（縮小画）画面に表示されます。

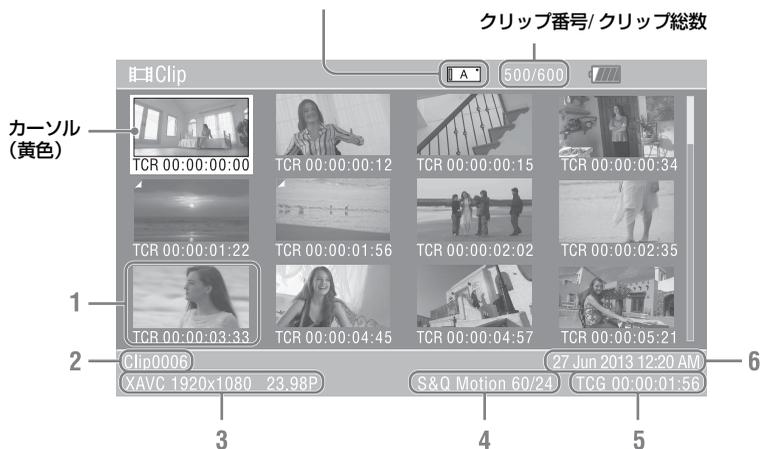
サムネイル画面で選択したクリップから再生を開始することができます。再生画像は、液晶画面/ビューファインダー、外部ビデオモニターに表示できます。

THUMBNAILボタンを押すと、サムネイル画面を終了し、撮影画面に戻ります。

画面の構成

画面下部には、カーソル位置のクリップの情報が表示されます。

現在選択されているXQDメモリーカードをハイライト表示
（プロテクトされている場合は右にロックマーク表示）



1. サムネイル（縮小画）

各クリップの代表画像です。記録時にはクリップの先頭フレームが自動的に代表画に設定されます。

サムネイルの下にはクリップ/フレーム情報が表示されます。サムネイルメニューのCustomize View（37ページ）の、Thumbnail Captionで表示内容を変更できます。

2. クリップ名

選択されているクリップのクリップ名が表示されます。

3. 記録時のビデオフォーマット

選択したクリップのファイルフォーマットが表示されます。

4. 特殊記録撮影情報

特殊記録モードで記録されたクリップの場合のみ、そのモードが表示されます。スロー&クイックモーション記録されたクリップの場合は、右側にフレームレートが表示されます。

5. クリップの収録時間（Duration）

6. 作成日時

クリップの再生

選択したクリップ以降のクリップを連続再生する

- 1 SEL/SETダイヤル（9ページ）を回して、再生を開始したいクリップのサムネイルにカーソルを合わせる。
- 2 SEL/SETダイヤルを押す。
選択したクリップの先頭から再生が始まります。

ご注意

- クリップとクリップの境界では、一時的に画像が乱れたり、静止画になる場合があります。またこの間は操作ができません。
- サムネイル画面でクリップを選択して再生を開始すると、クリップの先頭部分の再生映像が乱れる場合があります。クリップの先頭から乱れない映像で再生するには、一度再生モードにした後で一時停止にし、再生操作ボタンのPREVボタンを押してクリップの先頭に戻して再生を行ってください。

クリップ操作

サムネイル画面では、サムネイルメニューを使用してクリップの操作や詳細情報の確認などが可能です。

サムネイル画面でOPTIONボタン（9ページ）を押すとサムネイルメニューが表示されます。

サムネイルメニューの操作方法

SEL/SETダイヤル（9ページ）を回して機能を選択し、SEL/SETダイヤルを押してください。

CANCEL/BACKボタン（9ページ）を押すと、操作前の画面に戻ります。

サムネイルメニューでOPTIONボタンを押すと、サムネイルメニューが消えます。

ご注意

- XQDメモリーカードがプロテクトされているときは、操作できない項目があります。
- メニューを表示させたときの状態によって選択できない項目があります。

クリップ操作メニュー

Display Clip Properties

クリップの詳細情報画面を表示する（38ページ）。

Delete Clip

Select Clip：任意のクリップを削除する（39ページ）。

Delete All Clips

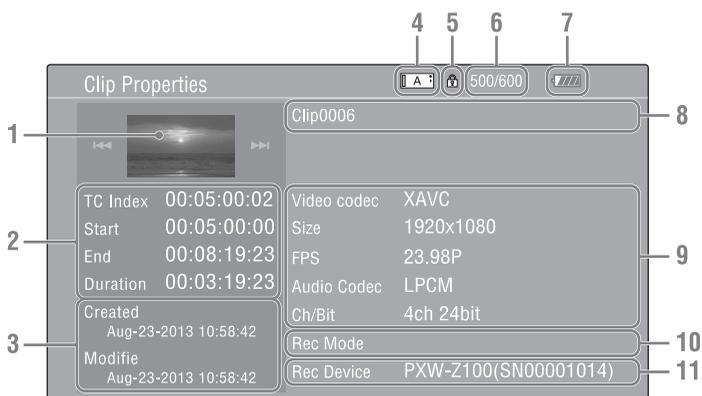
Select Clip：すべてのクリップを削除する（52ページ）。

Customize View

Thumbnail Caption：サムネイル画像下の表示内容を切り換える（39ページ）。

クリップの詳細情報を表示する

サムネイルメニューでDisplay Clip Propertiesを選択します。



1. 現在のクリップの画像

2. タイムコード表示

TC Index：表示されている画像のタイムコード

Start：記録開始点のタイムコード

End：記録終了点のタイムコード

Duration：収録時間

3. 収録日時と変更日時

4. 現在選択されているメモリーカード

5. メディアプロテクトアイコン

6. クリップ番号/クリップ総数

7. バッテリーアイコン

8. クリップ名

9. 記録フォーマット

Video Codec：ビデオコーデック

Size：画サイズ

FPS：フレームレート/ビットレート

Audio Codec：音声コーデック

Ch/Bit：音声記録チャンネル数/音声記録ビット数

10. 特殊記録撮影情報

11. 収録機器名

クリップを削除する

XQDメモリーカードからクリップを削除することができます。

サムネイルメニューのDelete ClipからSelect Clipを選びます。

1度に複数のクリップを選択することもできます。削除するクリップの選択が終わったらOPTIONボタン（9ページ）を押します。

サムネイル画面の情報を変更する

サムネイルの下に表示されるクリップ/フレーム情報を変更します。

サムネイルメニューのCustomize Viewの、Thumbnail Captionから、表示したい内容を選びます。

Date Time：作成日時または最終変更日時

Time Code：タイムコード

Duration：収録時間

Sequential Number：サムネイル番号

セットアップメニューの操作方法

MENUボタンを押すと、撮影や再生に必要な各種設定を行うセットアップメニューが液晶画面/ビューファインダー画面に表示されます（外部ビデオモニターに表示させることもできます）。

メニュー操作部

MENU ボタン (9 ページ)

セットアップメニューを操作するメニューモードをON/OFFします。

SEL/SET ダイアル (9 ページ)

回すとカーソルが上下に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。SEL/SETダイアルを押すと、選択している項目を決定します。

CANCEL/BACK ボタン (9 ページ)

一つ前の階層に戻ります。確定前の変更はキャンセルされます。

▲/▼/◀/▶/SET ボタン

▲/▼/◀/▶/ボタンを押すと、カーソルが上下左右に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。SETボタンを押すと、選択している項目を決定します。

ご注意

- 拡大フォーカスモード (27ページ) になっていると、セットアップメニューは操作できません。

メニューを設定する

SEL/SETダイアルを回して設定したい項目にカーソルを合わせ、SEL/SETダイアルを押して決定します。

- 選択項目が表示される選択肢エリアは最大9行表示です。選択肢が1度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。

- 選択肢の範囲が大きい項目の場合（例：-99~+99）は、選択肢エリアは表示されません。文字がハイライト表示になり設定変更が可能な状態であることを示します。
- 実行項目でExecuteを選択した場合は、対応する機能が実行されます。
- 実行前に確認が必要な項目を選択すると、いったんメニューが消え、確認メッセージが表示されます。メッセージに従って、実行するかキャンセルするかを選択してください。

文字列を入力する

ファイル名など、文字列を設定する項目を選択した場合は、文字列の入力画面が表示されます。



1 SEL/SETダイアルを回して入力したい文字タイプを選択し、決定する。

ABC：英大文字
abc：英小文字
123：数字
!#\$：特殊文字

2 選んだ文字タイプから文字を選択し、決定する。

カーソルが次の欄に移動します。
Space：カーソルの位置にスペースを入力します。
◀/▶：カーソル位置を移動します。
BS：カーソルの左の文字を削除します。

3 入力が終わったら、Doneを選択し、決定する。

文字列を確定して、入力画面が消えます。

セットアップメニュー一覧

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。
出荷時の初期設定値は、太文字（例：**18dB**）で示します。

Cameraメニュー

Camera		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Gain ゲインの設定	Gain<H> 0dB / 3dB / 6dB / 9dB / 12dB / 15dB / 18dB / 21dB	ゲインのプリセット値<H>を設定する。
	Gain<M> 0dB / 3dB / 6dB / 9dB / 12dB / 15dB / 18dB / 21dB	ゲインのプリセット値<M>を設定する。
	Gain<L> 0dB / 3dB / 6dB / 9dB / 12dB / 15dB / 18dB / 21dB	ゲインのプリセット値<L>を設定する。
Auto Exposure トータルレベル コントロールシ ステムの設定	Level -2.0 / -1.75 / -1.5 / -1.25 / -1.0 / -0.75 / -0.5 / -0.25 / 0 / +0.25 / +0.5 / +0.75 / +1.0 / +1.25 / +1.5 / +1.75 / +2.0	TLCSレベルを設定する。
	Speed -99~+99 (±0)	TLCSの制御スピードを設定する。
	AGC Limit 3dB / 6dB / 9dB / 12dB / 15dB / 18dB / 21dB / 24dB	AGC機能の最大ゲインを設定する。
	A.SHT Limit Off / 1/100 / 1/150 / 1/200 / 1/250	オートシャッター機能の最速シャッタースピードを設定する。
Focus フォーカスの設 定	Focus Macro On / Off	フォーカスポジションの可動範囲にマクロ領域を含めるかどうかを設定する。
Color Bars カラーバーの設 定	Setting Off / On	カラーバーをON/OFFする。
	Type ARIB / SMPTE / 75% / 100%	カラーバーの種類を選択する。
Flicker Reduce フリッカー補正 の設定	Mode Auto / On / Off	フリッカー補正モードを設定する。
	Frequency 50Hz / 60Hz	フリッカーの原因となる照明の電源周波数を設定する。

Camera		
メニュー項目	細目と設定値	内容
SteadyShot 手ブレ補正の設定	Setting On / Off	手ブレ補正機能をON/OFFする。
	SteadyShot Type Hard / Standard / Soft / Wide Conversion	手ブレ補正のタイプを選択する。
Handle Zoom ハンドルズーム スピードの設定	Setting 1 ~ 8 (3)	ハンドルズームスピードを設定する。 (ハンドルズームスイッチが「FIX」のときのみ有効)
Speed Zoom 高速ズーム機能 の設定	Setting On / Off	高速ズーム機能をON/OFFする。

Paintメニュー

Paint		
メニュー項目	細目と設定値	内容
White ホワイトバランス の設定	Preset White Outdoor / Indoor / ColorTemp.	プリセットとして使用する種類を選択する。
	Color Temp. <Preset> 2300K~15000K (3200K)	ホワイトメモリーに保存されたホワイトバランスの色 温度を表示および設定する。
	Shockless White Off / 1 / 2 / 3	ホワイトバランスモード切り換え時のホワイトバラン ス変化速度を設定する。 Off：瞬時に切り換わる。 1~3：数字が大きいほどゆっくり切り換わる。
	ATW Speed 1 / 2 / 3 / 4 / 5	ATWモード時の反応速度を設定する。 1：最も反応速度が速い。
Offset White ホワイトバラン スのオフセット の設定	Setting On / Off	Auto White Balance (ワンプッシュ)、およびATWに 対するオフセットホワイト機能をON/OFFする。
	Offset <A> -99~+99 (±0)	ホワイトメモリー (A) に対するオフセットホワイト 量を設定する。
	Offset -99~+99 (±0)	ホワイトメモリー (B) に対するオフセットホワイト 量を設定する。
	Offset <ATW> -99~+99 (±0)	ATWに対するオフセットホワイト量を設定する。
Black ブラックの設定	Setting On / Off	ブラック補正をON/OFFする。
	Master Black -99~+99 (±0)	マスターブラックレベルを設定する。
	R Black -99~+99 (±0)	Rブラックレベルを設定する。
	B Black -99~+99 (±0)	Bブラックレベルを設定する。

Paint		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Gamma ガンマ補正の設定	Gamma Category STD / CINE	スタンダードガンマ (STD)、CINEを選択する。
	Gamma Select	ガンマ補正に使用するガンマテーブルを選択する。
	Gamma CategoryがSTDのとき STD1 DW / STD2 x4.5 / STD3 x3.5 / STD4 240M / STD5 R709 / STD6 x5.0	
	Gamma CategoryがCINEのとき Cinematone1 / Cinematone2	
Knee ニー補正の設定	Setting On / Off	ニー補正機能をON/OFFする。 (Gamma設定のGamma CategoryがSTDのときのみ有効)
	Auto Knee On / Off	オートニー機能をON/OFFする。
	Point 75%~109% (90%)	ニーポイントを設定する。
	Slope -99~+99 (±0)	ニースロープを設定する。
Detail ディテール調整の設定	Manual Setting On / Off	ディテール調整機能をON/OFFする。
	Level -99~+99 (±0)	ディテールレベルを設定する。
	H/V Ratio -99~+99 (±0)	HディテールレベルとVディテールレベルのミックス比を設定する。
	Crispening -99~+99 (±0)	クリスピングレベルを設定する。
	White Limit -99~+99 (±0)	白側のディテールリミッターを設定する。
	Black Limit -99~+99 (±0)	黒側のディテールリミッターを設定する。
	Skin Detail スキディテール補正の設定	Setting On / Off
Area Detection Execute / Cancel	スキディテール補正の対象となる色を検出する。 Execute : 実行	
Area Indication On / Off	スキディテール補正の対象となる色のエリアにゼブラを表示する機能をON/OFFする。	
Level -99~+99 (±0)	スキディテールレベルを設定する。	
Saturation -99~+99 (±0)	スキディテール補正の対象となる色の飽和度 (サチュレーション) を設定する。	
Hue 0 ~359	スキディテール補正の対象となる色の色相 (ヒュー) を設定する。	
Width 0 ~90 (40)	スキディテール補正の対象となる色の色相の範囲を設定する。	

Paint		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Matrix マトリクス補正 の設定	Setting On / Off	マトリクス補正機能をON/OFFする。
	Preset Matrix On / Off	プリセットマトリクス機能をON/OFFする。
	Preset Select Standard / High Saturation / FL Light / Cinema	プリセットマトリクスを選択する。
	User Matrix On / Off	ユーザーマトリクス補正機能をON/OFFする。
	Level -99~-+99 (±0)	映像全域の色の濃さ（サチュレーション）を調整する。
	Phase -99~-+99 (±0)	映像全域の色あい（フェーズ）を調整する。

Audioメニュー

Audio		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Audio Input 音声入力の設定	INPUT1 Reference -60dB / -50dB / -40dB	INPUT1スイッチの設定がMICの場合の基準入力レベルを選択する。
	INPUT2 Reference -60dB / -50dB / -40dB	INPUT2スイッチの設定がMICの場合の基準入力レベルを選択する。
	INT MIC Sensitivity Normal / High	内蔵マイクの感度を選択する。
	INPUT1 Wind Filter On / Off	チャンネル1の風音低減フィルターをON/OFFする。
	INPUT2 Wind Filter On / Off	チャンネル2の風音低減フィルターをON/OFFする。
	INT MIC Wind Filter On / Off	内蔵ステレオマイクの風音低減フィルターをON/OFFする。
	Limiter Mode On / Off	オーディオ入力レベル手動調整時、大きな入力信号に対するリミッターをON/OFFする。
	AGC Mode Mono / Stereo	AGCのチャンネル連動を選択する。
	1KHz Tone On / Off	1KHzの基準音声信号をON/OFFする。
	Audio Output 音声出力の設定	Headphone Out Mono / Stereo

Videoメニュー

Video		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Output On/Off 映像出力の設定	SDI On / Off	SDI出力をON/OFFする。
	HDMI On / Off	HDMI出力をON/OFFする。
Output Format 出力フォーマットの設定	SDI 2048×1080P / 1920×1080P / 1920×1080i / 1280×720P / 720×486i / 720×576i	SDI出力の解像度設定をする。 SET：実行
	• ビデオフォーマットと出力信号 (62ページ)	
	HDMI 4096×2160P / 3840×2160P / 1920×1080P / 1920×1080i / 720×480P / 720×576P	HDMI出力の解像度設定をする。 SET：実行
	VIDEO	解像度とスキャン方式を表示する。(表示のみ。)
Output Display 出力信号の設定	SDI On / Off	SDI出力信号にメニューやステータスを加えるかどうかを選択する。
	HDMI On / Off	HDMI出力信号にメニューやステータスを加えるかどうかを選択する。
	VIDEO On / Off	Video出力信号にメニューやステータスを加えるかどうかを選択する。

20

LCD/VFメニュー

LCD/VF		
メニュー項目	細目と設定値	内容
LCD Setting 液晶画面 (LCD) の設定	Color -99~+99 (±0)	液晶画面 (LCD) の色の濃さを調整する。
	Brightness -99~+99 (±0)	液晶画面 (LCD) の明るさを調整する。
	LCD Backlight Normal / Bright	液晶画面 (LCD) のバックライトレベルを調整する。
VF Setting ビューファインダーの設定	VF Backlight Normal / Bright	ビューファインダー映像の明るさを調整する。
	Color Mode Color / B&W	E-E表示/記録時のビューファインダーの表示モードを選択する。
	Power Mode Auto / On	液晶画面 (LCD) に応じた点灯モードを設定する。 Auto：LCDが閉じているとき、反転しているとき点灯 On：常時点灯

LCD/VF		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Peaking ピーキングの設定	Setting On / Off	ピーキング機能をON/OFFする。
	Color White / Red / Yellow / Blue	カラーピーキングの信号色を選択する。
	Color Peaking Level 0～99 (50)	カラーピーキングのレベルを設定する。
Marker マーカー表示の設定	Setting On / Off	すべてのマーカー表示をまとめてON/OFFする。
	Center Marker On / Off	センターマーカーをON/OFFする。
	Safety Zone On / Off	セーフティゾーンマーカーをON/OFFする。
	Safety Area 80% / 90% / 92.5% / 95%	セーフティゾーンマーカーの大きさ（画面全体に対する比率）を選択する。
	Aspect Marker On / Off	アスペクトマーカーをON/OFFする。
	Aspect Select 4:3 / 13:9 / 14:9 / 15:9 / 16:9	アスペクトマーカーの比を選択する。
	Guide Frame On / Off	ガイドフレーム表示をON/OFFする。
Zebra ゼブラパターンの設定	Setting On / Off	ゼブラ機能をON/OFFする。
	Zebra Select 1 / 2 / Both	ゼブラ表示の種類（ゼブラ1、ゼブラ2、または両方）を選択する。
	Zebra1 Level 50%～107% (70%)	ゼブラ1を表示するレベルを設定する。
	Zebra1 Aperture Level 1%～20% (10%)	ゼブラ1のアパーチャーレベルを設定する。
	Zebra2 Level 52%～109% (100%)	ゼブラ2を表示するレベルを設定する。

メニュー項目	細目と設定値	内容
Display On/Off 画面表示項目の 設定	Shutter Setting On / Off	液晶画面やビューファインダー画面に表示する項目を 選択する。
	ND Filter Position On / Off	
	Gain Setting On / Off	
	Play Status On / Off	
	Color Temp. On / Off	
	Frame Rate On / Off	
	Battery Remain On / Off	
	Timecode On / Off	
	Audio Manual On / Off	
	Audio Level Meter On / Off	
	Media Status On / Off	
	Focus Position Meter / Feet / Off	
	Iris Position On / Off	
	Zoom Position Number / Bar / Off	
	Focus Macro On / Off	
	SteadyShot On / Off	
	Focus Mode On / Off	
	Auto Shutter On / Off	
	AGC On / Off	
	Auto Iris On / Off	
	AE Mode On / Off	
	White Balance Mode On / Off	
SDI/HDMI Rec Control On / Off		

LCD/VF		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	Rec Format On / Off	
	Gamma On / Off	
	TC IN On / Off	
	Audio Format On / Off	
	Wi-Fi Condition On / Off	
	Video Level Warning On / Off	
	Clip Number On / Off	

TC/UBメニュー

TC/UB		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Timecode タイムコードの 設定	Mode Preset / Regen	タイムコードの歩進モードを設定する。 Preset (プリセット) : 設定された状態から歩進する。 Regen (リジェネ) : 前のクリップのタイムコードに続 けて歩進する。
	Run Rec Run / Free Run	Rec Run : 記録時のみ歩進する。 Free Run : 記録に関係なく常に歩進する。
	Setting	タイムコードを任意の値に設定する。 SET : 決定
	Reset Execute / Cancel	タイムコードを00:00:00:00にリセットする。 Execute : 実行
	TC Format DF / NDF	タイムコードのフォーマットを設定する。 DF : ドロップフレーム NDF : ノンドロップフレーム

Recordingメニュー

Recording		
メニュー項目	細目と設定値	内容
S&Q Motion スロー&クイック クモーション モードの設定	Setting On / Off	スロー&クイックモーションモードをON/OFFする。
	Frame Rate NTSC Area : 1P、2P、4P、 8P、15P、30P、60P PAL Area : 1P、2P、3P、 6P、12P、25P、50P	S&Q設定がOnの場合に、スロー&クイックモーション 撮影時のフレームレートを設定する。

Recording		
メニュー項目	細目と設定値	内容
SDI/HDMI Recording Control	Setting On / Off	SDI/HDMI出力信号による外部接続機器の記録/停止制御をON/OFFする。
SDI/HDMI記録制御の設定		

Mediaメニュー

Mediaメニューは、対象となるメディアが未装着のときは無効になります。

Media		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Format Mediaメモリーの初期化	Media(A) Execute / Cancel	スロットAのXQDメモリーカードを初期化する。 Execute : 実行
	Media(B) Execute / Cancel	スロットBのXQDメモリーカードを初期化する。 Execute : 実行
	SD Card Execute / Cancel	UTILITY SDカードを初期化する。 Execute : 実行

Fileメニュー

File		
メニュー項目	細目と設定値	内容
All File Allファイルに関する設定	Load SD Card Execute / Cancel	Allファイルを読み出す。 Execute : 実行
	Save SD Card Execute / Cancel	Allファイルを保存する。 Execute : 実行

Systemメニュー

System		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Rec Format	Video Format	録画フォーマットを設定する。
記録フォーマットの設定	NTSC系の場合： 4096×2160 59.94P 4096×2160 29.97P 4096×2160 23.98P 3840×2160 59.94P 3840×2160 29.97P 3840×2160 23.98P 1920×1080 59.94P 1920×1080 29.97P 1920×1080 23.98P PAL系の場合： 4096×2160 50P 4096×2160 25P 3840×2160 50P 3840×2160 25P 1920×1080 50P 1920×1080 25P	SET：実行
Assignable Button	<1>~<7> Off / Marker / Zebra / Peaking / Focus Magnifier / Focus Macro / VF Mode / Auto Exposure Level / SteadyShot / Color Bars / Rec Lamp[F] / Rec Lamp[R] / S&Q Motion / Thumbnail	アサインボタンに機能を割り当てる。 マーカー：マーカー機能のON/OFF切り換え Zebra：ゼブラ機能のON/OFF切り換え Peaking：ピーキング機能のON/OFF切り換え Focus Magnifier：拡大フォーカス機能のON/OFF切り換え Focus Macro：フォーカスマクロ機能のON/OFF切り換え VF Mode：ビューファインダー画面のカラー/モノクロ切り換え Auto Exposure Level：AEレベルのON/OFF切り換え SteadyShot：手ブレ補正機能のON/OFF切り換え Color Bars：カラーバー表示のON/OFF切り換え Rec Lamp[F]：前部録画ランプ点灯のON/OFF切り換え Rec Lamp[R]：後部録画ランプ点灯のON/OFF切り換え S&Q Motion：スロー&クイックモーションのON/OFF切り換え Thumbnail：サムネイル画面表示のON/OFF切り換え
Rec Lamp	Rec Lamp[F]	前部録画ランプをON/OFFする。
録画ランプの設定	On / Off	
	Rec Lamp[R]	後部録画ランプをON/OFFする。
	On / Off	
Language	Select	表示する言語を設定する。
言語の設定		SET：実行

System		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Clock Set 内蔵時計に関する設定	Time Zone	UTCからの時差を30分単位で設定する。
	UTC -12:00 Kwajalein~ UTC +14:00	
	Date Mode	年月日の表示方式を選択する。
	YYMMDD / MMDDYY / DDMMYY	YYMMDD : 年月日の順 MMDDYY : 月日年の順 DDMMYY : 日月年の順
	12H/24H	時刻の表示形式を選択する。
	12H / 24H	12H : 12時間表示 24H : 24時間表示
Date	現在の日付を設定する。 SET : 決定	
Time	現在の時刻を設定する。 SET : 決定	
Country 地域の設定	NTSC/PAL Area	使用地域を設定する。 Execute : 実行
Hours Meter 積算時間の表示	Hours(System)	積算使用時間 (リセット不可) を表示する。
	Hours(Reset)	積算使用時間 (リセット可) を表示する。
	Reset Execute / Cancel	Hours (Reset) 表示を0にリセットする。 Execute : 実行
Basic Authentication ネットワークの 基本認証に関する設定	User Name (admin)	任意のユーザー名を設定する (英数字で1~16文字)。 SET : 決定
	Password (pxw-z100)	パスワードを設定する (英数字で1~16文字)。 SET : 決定
Wi-Fi Wi-Fi接続に関する設定と表示	Wi-Fi	Wi-Fi接続の有効/無効を選択する。
	Enable / Disable	
	SSID & Password	SSIDとパスワードを表示する。
	Wi-Fi Direct Connection Execute / Cancel	Wi-Fi Directによる接続処理を開始する。 Execute : 実行
	Client	つながっているクライアント機器の情報(機器名またはMacアドレス)を表示する。
	IP Address 10.0.0.1	本機のIPアドレスを表示する。
	Subnet Mask 255.255.0.0	Subnet Maskを表示する。
	MAC Address	本機に搭載されているWi-FiモジュールのMacアドレスを表示する。
	Regenerate Password Execute / Cancel	パスワードを再生成する。 Execute : 実行
All Reset 工場出荷状態へのリセット	Reset Execute / Cancel	工場出荷状態へのリセットを実行する。 Execute : 実行

System		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Version 本機のバージョンの表示	Number Vx.xx	本機のソフトウェアバージョンを表示する。
	Version Up Execute / Cancel	本機をバージョンアップする。 Execute : 実行 * バージョンアップは本機のソフトウェアをアップデートする機能です。

Thumbnailメニュー

Thumbnail		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Display Clip Properties クリップ詳細情報画面の表示		クリップ詳細情報画面を開く。
Delete Clip クリップの削除	Execute / Cancel	任意のクリップを削除する。 Execute : 実行
Delete All Clips すべてのクリップの削除	Execute / Cancel	すべてのクリップを削除する。 Execute : 実行
Customize View 静止画サムネイル画面の表示	Thumbnail Caption Date Time / Time Code / Duration / Sequential Number	サムネイル画像直下の表示内容を切り換える。

外部モニターや記録装置を接続する

記録・再生画像を外部モニターに表示させるときは、本機の出力信号を選択し、接続するモニターに応じた接続ケーブルを使用してください。

VTRなどの記録装置を接続して、本機の出力信号を記録することもできます。

外部モニターにビューファインダーと同様の各種ステータス情報やメニューなどを表示させることができます。モニターに出力する信号に応じて、VideoメニューのOutput Display（45ページ）をOnに設定してください。

SDI OUT端子（BNC型）

Videoメニュー（45ページ）で、出力のON/OFFや出力フォーマットを設定します。

接続には市販の75Ω同軸ケーブルを使用してください。

本機と同時に外部機器で記録を開始するには

SDI信号出力時は、RecordingメニューのSDI/HDMI Rec Control（49ページ）をOnに設定すると、SDI OUT端子に接続した外部機器にRECトリガー信号を出力することによって、本機と同期した記録が可能になります。

ご注意

- 接続した外部機器がRECトリガー信号に対応していない場合は動作しません。

HDMI OUT端子（Type Aコネクター）

Videoメニュー（45ページ）で、出力のON/OFFや出力フォーマットを設定します。

接続には、付属のHDMI接続ケーブルを使用します。

市販のHDMIケーブルをご使用になる場合は、ハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。

VIDEO OUT端子（ピンジャック）

接続には付属のAV接続ケーブルを使用してください。

詳細は「ビデオフォーマットと出力信号」（62ページ）をご覧ください。

パソコンでクリップを管理・編集する

USBケーブルを使って接続する

XQDカードリーダー（別売）を使う

XQDカードリーダー MRW-E80（別売）をUSBケーブルで接続すると、スロットに装着されたメモリーカードがパソコンの拡張ドライブとして認識されます。

本機の場合、2枚のメモリーカードが挿入されているときは、パソコンでは2つのドライブとして認識されます。

ご注意

- パソコンからのバスパワーでは動作しません。それぞれに電源を用意してください。

本機のマストレージモードを使う

1 本機のPOWERスイッチをONにする。

液晶画面/ビューファインダー画面にUSBの接続を有効にするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

ご注意

- XQDメモリーカードのフォーマットや修復など、実行を確認するメッセージや実行中のメッセージが表示されている間は、USB接続確認メッセージは表示されません。フォーマットや修復などの実行が終了後に表示されます。またクリップの詳細情報表示中もUSB接続確認メッセージは表示されません。処理が終了するか、サムネイル画面に戻ると表示されます。

2 SEL/SETダイヤルを回してExecuteを選ぶ。

3 Windowsの場合、「マイコンピュータ」にリムーバブルディスクとして追加されていることを確認する。

Macintoshの場合、デスクトップにNO NAMEまたはUntitledフォルダ（フォルダ名は任意に変更可）が作成されていることを確認する。

ご注意

- アクセスランプが赤く点灯しているときは、次の操作をしないでください。
 - 電源を切る。電源コードを抜く。
 - XQDメモリーカードを抜く。
 - USBケーブルを抜く。
- Macintoshの場合、XQDメモリーカードを取り出すときは、メニューバーに表示されているXQDメモリーカードのアイコンから「カード電源切」を選択しないでください。
- すべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。

ノンリニア編集システムを使う

ノンリニア編集システムには、本機で記録したフォーマットに対応した編集ソフトウェア（別売）が必要です。

専用アプリケーションソフトウェアを使って、あらかじめパソコンのHDDに編集したいクリップを保存しておきます。

使用上のご注意

記録時間について

撮影・再生可能時間の目安

撮影可能時間

満充電からのおよその時間です。

(単位：分)

	連続撮影時		実撮影時	
	4K	HD	4K	HD
液晶画面	160 (30P)	145 (60P)	75 (30P)	65 (60P)
	165 (25P)	155 (50P)	75 (25P)	70 (50P)
ビューファインダー	165 (30P)	150 (60P)	80 (30P)	70 (60P)
	170 (25P)	160 (50P)	80 (25P)	75 (50P)

ご注意

- ECM-XM1使用時
- 実撮影時とは、録画スタンバイ、ズームなどを繰り返したときの時間です。
- 25℃で使用したときの時間です。10℃～30℃でのご使用をおすすめします。
- 低温の場所で使うと、撮影・再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影・再生可能時間が短くなります。

再生可能時間

満充電からのおよその時間です。

(単位：分)

	4K	HD
液晶画面	210 (30P)	210 (60P)
	220 (25P)	215 (50P)
ビューファインダー	220 (30P)	220 (60P)
	230 (25P)	225 (50P)

動画の撮影可能時間の目安

(単位：分)

フォーマット	解像度	フレームレート	ビットレート (約)	録画時間 32GB (約)	録画時間 64GB (約)
XAVC [4K] Intra 422 10bit	4096×2160 3840×2160	59.94p	600Mbps	5	10
		50p	500Mbps	7	15
		29.97p	300Mbps	10	20
		25p	250Mbps	10	25
		23.98p	240Mbps	10	30
XAVC [HD] Intra 422 10bit	1920×1080	59.94p	223Mbps	15	30
		50p	223Mbps	15	30
		29.97p	112Mbps	25	60
		25p	112Mbps	30	60
		23.98p	89Mbps	30	75

ご注意

- 撮影可能時間は、撮影環境や、被写体の状態などによっても変わります。
-

- 動画の撮影可能シーン数は660個です。
- 動画の連続撮影可能時間は、約13時間です。
- 撮影シーンに合わせてビットレート（一定時間あたりの記録データ量）を自動調節するVBR（Variable Bit Rate）方式を採用しています。そのため、記録メディアへの録画時間は変動します。例えば、動きの速い映像は記録メディアの容量を多く使って鮮明な画像を記録するので、記録メディアの録画時間は短くなります。

海外で使う

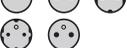
電源について

本機は、海外でも使えます。

別売のチャージャー AC-VQ1051D (ACCKIT-D12Bに付属)は、全世界の電源 (AC100V~240V、50Hz/60Hz) で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたすねの上、ご用意ください。

電子式変圧器 (トラベルコンバーター) は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	 主に北米	 主にヨーロッパなど
使用する変換プラグアダプター	不要	

テレビで見えるには

本機で撮影した動画をテレビで見えるには、あらかじめSystemメニューのCountryのNTSC/PAL Areaをご覧になる国や地域で採用されているテレビ方式に合わせて設定して撮影してください。NTSC Area、PAL Areaそれぞれの設定で見られる国と地域は下記の通りです。

NTSC/PAL AreaをNTSC Areaに設定すると見られる国と地域

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ポリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、チャマー、メキシコなど

NTSC/PAL AreaをPAL Areaに設定すると見られる国と地域

アルゼンチン、イギリス、イタリア、イラク、イラン、インドネシア、ウクライナ、ウルグアイ、オーストラリア、オーストリア、オランダ、ギリシャ、クウェート、クローアチア、シンガポール、スウェーデン、スイス、スペイン、スロバキア、タイ、チェコ、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、ニュージーランド、ノルウェー、パラグアイ、ハンガリー、フィンランド、ブラジル、フランス領ギアナ、フランス、ブルガリア、ベトナム、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マレーシア、モナコ、ルーマニア、ロシアなど

時差補正機能について

海外で使うとき、SystemメニューのClock SetのTime Zone (51ページ) を設定します。

安全にご使用いただくために、付属の「ご使用になる前に」と併せてご覧ください。

取り扱い・保管上のご注意

強い衝撃を与えない

内部構造や外観の変形などの損傷を受けることがあります。

動作中は布などで包まないでください

内部の温度が上がります、好ましくありません。

使い終わったら

POWERスイッチをOFFにしてください。

長時間使わないときは

バッテリーを抜いておいてください。

レンズを太陽光に向けて放置しない

太陽光がレンズを通して内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。

輸送

- メモリーカードは必ず取り出しておいてください。
- トラック、船、航空機など、本機を貨物として扱う輸送では、お買い上げ時の梱包材をご使用ください。

お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。ひどい汚れは、中性洗剤液を少し含ませた布で拭いた後、カラ拭きします。アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品類は、表面が変質したり、塗料がはげることがありますので、使わないでください。

InfoLITHIUM (インフォリチウム) バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー (Lシリーズ) の高容量バッテリー NP-F970 (別売) がお使いいただけます。NP-F570、F770はお使いいただけません。“インフォリチウム”バッテリーLシリーズには  InfoLITHIUM  マークがついています。

InfoLITHIUM (インフォリチウム) バッテリーとは？

“インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売のチャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10℃～30℃の範囲で、チャージャーの充電ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
 - バッテリーをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける。
 - 高容量バッテリー (NP-F970 (別売)) を使う。
- 本機で撮影や再生をしないときは、こまめにPOWERスイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。

- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前のためしほりをお願いします。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- 液晶画面の残量表示マークで確認してください。

残量表示マーク	検出電圧
	7.4～
	7.2～7.3
	7.0～7.1
	6.8～6.9
	6.6～6.7
	～6.5

- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください (12ページ)。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

本機の取り扱いについて

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
炎天下や熱器具の近く、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所（窓際や室外など）
液晶画面やファインダー内部を傷めます。

長期間使用しないときは

- 本機を良好な状態で長期にわたってお使いいただくために、月に1回程度、本機の電源を入れて撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから、保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本体内に水滴が付くことで、故障の原因になります。

結露が起きたときは

電源を入れずに、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。

結露が起りやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき

- スクールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

お手入れ

液晶表面にはコーティング処理がされており、傷をつけるとコーティングが剥がれることがあります。

お取り扱い、お手入れの際は下記の点にご注意ください。

- 手の脂、ハンドクリーム等が付いたままにするとコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。
- ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
- 汚れを拭き取る前に埃や砂などはブロワーなどであらかじめ払い落としてください。
- 汚れを拭き取るときは清潔な眼鏡拭き等、柔らかい生地の布でやさしく拭き取ってください。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、次のことは避けてください。
 - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類。
 - 上記が手に付いたまま本機を扱う。
 - ゴムやビニール製品との長時間接触。

レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。

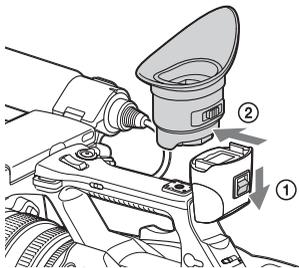
内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機がACアダプターでコンセントにつながっているか、バッテリーが入っている限り常に充電されています。ACアダプターで電源につながない、またはバッテリーを入れないままで**3か月**近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

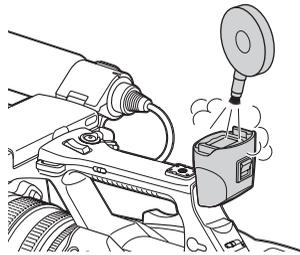
ファインダーのお手入れについて

1 接眼部をはずす。

ビューファインダー取りはずしつまみを下にずらしたまま ①、矢印の方向に接眼部をずらしてはずす ②。



2 接眼部の内側、ファインダー内部のゴミを、カメラ用のブロワーブラシなどで取り除く。



携帯電話や無線機などによる電波障害を防止するために

携帯電話や無線機などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。本機の近くでは、携帯電話や無線機などの電源はできるだけ切ってください。

画面について

- 画面を太陽にむけたままにすると、画面を傷めます。屋外でご使用のときは、太陽に向けて放置しないでください。
- 画面を強く押したり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、パネルの故障の原因になります。
- 使用中に画面があたたかくなることがありますが、故障ではありません。

液晶画面の輝点・減点について

本機の液晶パネルは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。画面上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や減点がある場合があります。また、液晶パネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。なお、これらの点が記録されることはありません。

画面表示に関するご注意

- 次のような場合、液晶画面やビューファインダーの映像が乱れることがあります。
—フォーマットを切り換えたとき
—サムネイル画面から再生を開始したとき
- ビューファインダー内で視線を動かした場合などに、赤、緑、青の原色が見えることがあります。故障ではありません。また、これらの原色が実際にメディアに記録されることはありません。

ファイルの断片化について

画像が正しく記録・再生されないときは記録メディアをフォーマット（初期化）してください。長期間、映像の記録・クリップの消去を繰り返していると、記録メディア内のファイルが断片化（フラグメンテーション）して、映像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、クリップのバックアップを取ったあと、MediaメニューのFormat Media（49ページ）で記録メディアのフォーマット（初期化）を行ってください。

出力のフォーマットと制限

ビデオフォーマットと出力信号

SDI OUT端子の出力フォーマット

使用地域設定	記録フォーマット設定	SDI出力設定	出力信号・変換方式
Systemメニュー Countryの NTSC/PAL Area	Systemメニュー Rec Formatの Video Format	Videoメニュー Output Formatの SDI	出力信号
NTSC Area	4096×2160 59.94P	2048×1080P	2048×1080 59.94P
		1920×1080P	1920×1080 59.94P
		1920×1080i	1920×1080 59.94i
	4096×2160 29.97P	2048×1080P	2048×1080 29.97P
		1920×1080P	1920×1080 29.97PsF
		1920×1080i	1920×1080 29.97PsF
	4096×2160 23.98P	2048×1080P	2048×1080 23.98P
		1920×1080P	1920×1080 23.98P
		1920×1080i	1920×1080 23.98PsF
	3840×2160 59.94P	1920×1080P	1920×1080 59.94P
		1920×1080i	1920×1080 59.94i
	3840×2160 29.97P	1920×1080P	1920×1080 29.97PsF
		1920×1080i	1920×1080 29.97PsF
	3840×2160 23.98P	1920×1080P	1920×1080 23.98P
		1920×1080i	1920×1080 23.98PsF
	1920×1080 59.94P	1920×1080P	1920×1080 59.94P
		1920×1080i	1920×1080 59.94i
	1920×1080 29.97P	1920×1080P	1920×1080 29.97PsF
1920×1080i		1920×1080 29.97PsF	
1920×1080 23.98P	1920×1080P	1920×1080 23.98P	
	1920×1080i	1920×1080 23.98PsF	
PAL Area	4096×2160 50P	2048×1080P	2048×1080 50P
		1920×1080P	1920×1080 50P
		1920×1080i	1920×1080 50i
	4096×2160 25P	2048×1080P	2048×1080 25P
		1920×1080P	1920×1080 25PsF
		1920×1080i	1920×1080 25PsF
	3840×2160 50P	1920×1080P	1920×1080 50P
		1920×1080i	1920×1080 50i
	3840×2160 25P	1920×1080P	1920×1080 25PsF
		1920×1080i	1920×1080 25PsF
	1920×1080 50P	1920×1080P	1920×1080 50P
		1920×1080i	1920×1080 50i
1920×1080 25P	1920×1080P	1920×1080 25PsF	
	1920×1080i	1920×1080 25PsF	

ご注意

- VIDEOメニューのOutput FormatのHDMIを4096×2160Pまたは3840×2160Pにしているときは、SDI OUT端子から出力できません。

HDMI OUT端子の出力フォーマット

使用地域設定	記録フォーマット設定	HDMI出力設定	出力信号・変換方式
Systemメニュー Countryの NTSC/PAL Area	Systemメニュー Rec Formatの Video Format	Videoメニュー Output Formatの HDMI	出力信号
NTSC Area	4096×2160 59.94P	4096×2160P	4096×2160 59.94P*
		3840×2160P	3840×2160 59.94P*
		1920×1080P	1920×1080 59.94P
		1920×1080i	1920×1080 59.94i
	3840×2160 59.94P	720×480P	720×480 59.94P
		3840×2160P	3840×2160 29.97P
		1920×1080P	1920×1080 59.94i
		1920×1080i	1920×1080 59.94i
	4096×2160 23.98P	720×480P	720×480 59.94P
		4096×2160P	4096×2160 23.98P
		3840×2160P	3840×2160 23.98P
		1920×1080P	1920×1080 23.98P
	3840×2160 59.94P	1920×1080i	1920×1080 59.94i
		720×480P	720×480 59.94P
		3840×2160P	3840×2160 59.94P*
		1920×1080P	1920×1080 59.94P
	3840×2160 29.97P	1920×1080i	1920×1080 59.94i
		1920×1080i	1920×1080 59.94i
		720×480P	720×480 59.94P
		3840×2160P	3840×2160 29.97P
	3840×2160 23.98P	720×480P	720×480 59.94P
		1920×1080P	1920×1080 23.98P
		1920×1080i	1920×1080 59.94i
		3840×2160P	3840×2160 23.98P
	1920×1080 59.94P	720×480P	720×480 59.94P
		1920×1080i	1920×1080 59.94i
		1920×1080P	1920×1080 59.94P
	1920×1080 29.97P	720×480P	720×480 59.94P
1920×1080i		1920×1080 59.94i	
1920×1080P		1920×1080 59.94i	
1920×1080 23.98P	720×480P	720×480 59.94P	
	1920×1080i	1920×1080 23.98P	
	1920×1080P	1920×1080 59.94i	

使用地域設定	記録フォーマット設定	HDMI出力設定	出力信号・変換方式
Systemメニュー Countryの NTSC/PAL Area	Systemメニュー Rec Formatの Video Format	Videoメニュー Output Formatの HDMI	出力信号
PAL Area	4096×2160 50P	4096×2160P	4096×2160 50P*
		3840×2160P	3840×2160 50P*
		1920×1080P	1920×1080 50P
		1920×1080i	1920×1080 50i
	3840×2160 50P	720×576P	720×576 50P
		3840×2160P	3840×2160 25P
		1920×1080P	1920×1080 50i
		1920×1080i	1920×1080 50i
	3840×2160 50P	720×576P	720×576 50P
		3840×2160P	3840×2160 50P*
		1920×1080P	1920×1080 50P
		1920×1080i	1920×1080 50i
	3840×2160 25P	720×576P	720×576 50P
		3840×2160P	3840×2160 25P
		1920×1080P	1920×1080 50i
		1920×1080i	1920×1080 50i
	1920×1080 50P	720×576P	720×576 50P
		1920×1080P	1920×1080 50P
		1920×1080i	1920×1080 50i
		720×576P	720×576 50P
	1920×1080 25P	1920×1080P	1920×1080 50i
		1920×1080i	1920×1080 50i
		720×576P	720×576 50P
		720×576P	720×576 50P

* ソニー独自の伝送方式に対応しています。
ソニー製の4Kテレビ、4Kモニターとの接続が可能です。
映像解像度はY:Cb:Cr=4:2:0となります。

VIDEO OUT端子の出力フォーマット

VideoメニューのOutput FormatのHDMI出力フォーマットを3840×2160Pにしていると、VIDEO OUT端子に信号出力できません。

VIDEO 出力信号

使用地域設定	VIDEO出力
Systemメニュー Countryの NTSC/PAL Area	
NTSC Area	720×486 59.94i
PAL Area	720×576 50i

ご注意

- VIDEOメニューのOutput On/OffのSDIとHDMIを両方Onにしているときは、VIDEO OUT端子から出力できません。
- VIDEOメニューのOutput FormatのHDMIを4096×2160Pまたは3840×2160Pにしているときは、VIDEO OUT端子から出力できません。
- 再生クリップの画サイズが、VIDEOメニューのOutput FormatのSDI、HDMIの出力に設定されている画サイズよりも小さい場合、それぞれの端子からは映像信号が出力されません。

エラー/警告表示

本機では警告、注意、動作確認などが必要な状況では、液晶画面/ビューファインダー画面のメッセージ表示、録画ランプの点滅、および警告音で対応します。
警告音は、ヘッドホン端子に接続したヘッドホンに出力します。

エラー表示

次のような表示が出た場合は、本機は動作を停止します。

C:04:□□	“インフォリチウム”以外のバッテリーが使われている。必ず“インフォリチウム”バッテリーを使う（58ページ）。
C:06:□□	バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。
C:32:□□	電源をいったん取りはずし、取り付け直してからもう一度操作する。
E:20:□□/E:40:□□/E:41:□□/ E:50:□□/E:51:□□/E:61:□□/ E:62:□□/E:92:□□/E:94:□□/ E:95:□□	以下の手順でお試ください。 1 項目をチェックし、本機を点検する。 2 電源を取りはずし、約1分後再び取り付け、本機の電源を入れる。 3 ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店に問い合わせる。

警告表示

次のような表示が出た場合は、メッセージに従って対策してください。

液晶画面/ビューファインダー 警告表示	警告音	録画 ランプ	原因と対策
メディア残量がわずかです Media Near Full	断続音	点滅	XQDメモリーカードの残量が少なくなっています。 早い機会に交換してください。
メディア残量がありません Media Full	連続音	高速点滅	XQDメモリーカードの残量がないため、記録、コピー、クリップ分割はできません。 交換してください。
バッテリー残量がわずかです Battery Near End	断続音	点滅	バッテリーパックの残量が少なくなっています。 早い機会に充電してください。
バッテリー残量がありません Battery End	連続音	高速点滅	バッテリーパックが消耗しました。記録はできません。 いったん操作を中止し、バッテリーパックを交換してください。
バッテリーが高温になりました 電源を切ってください Battery Temperature High Turn Power Off			バッテリー温度が上昇しました。自動的に電源が切れます。
警告温度になりました Temperature High	断続音	点滅	内部温度が上昇しました。 いったん電源を切り、温度が下がるまで使用を中止してください。
このバッテリーは使用できません 交換してください Battery Error Please Change Battery			バッテリーパックに異常が検出されました。 正常なバッテリーパックに交換してください。

液晶画面/ビューファインダー 警告表示	警告音	録画 ランプ	原因と対策
メディア(A) ¹⁾ は使用できません 交換してください Unknown Media(A) ¹⁾ Please Change			パーティションが切られているメモリーカードや、本機で扱えるクリップ数を超えて記録されたメモリーカードが挿入されました。本機では使用できませんので、交換してください。
メディアエラーが発生しました メディア(A) ¹⁾ は修復が必要です Media Error Media(A) ¹⁾ Needs to be Restored			メモリーカードに異常が発生し、修復が必要な状態になりました。メモリーカードを一度抜いてから再挿入して、カードの修復を行ってください。
メディアエラーが発生しました メディア(A) ¹⁾ は記録できません Media Error Cannot Record to Media(A) ¹⁾			メモリーカードが故障して、記録ができなくなりました。再生は可能ですので、コピーをとるなどして、新しいメモリーカードに交換することをお勧めします。
メディアエラーが発生しました メディア(A) ¹⁾ は使用できません Media Error Cannot Use Media(A) ¹⁾			メモリーカードが故障して記録も再生もできなくなりました。本機では扱えませんので、他のカードに交換してください。
まもなくスロットを切り替えます Will Switch Slots Soon			2枚のメモリーカードで連続記録を実行するためスロットを切り換えることを予告するメッセージです。
メディア(A) ¹⁾ は使用できません ファイルシステムが異なります Cannot Use Media(A) ¹⁾ Unsupported File System			ファイルシステムの異なるカードまたはフォーマットされていないカードが挿入されました。本機では使用できませんので、交換または本機でフォーマットしてください。
メディアエラーが発生しました 再生を停止しました Media Error Playback Halted			メモリーカードからの読み出しにエラーが発生したため、再生を続けられません。頻繁に起きる場合には、コピーをとるなどをして、メモリーカードを交換してください。
メディア(A) ¹⁾ にエラーが発生しました Media(A) ¹⁾ Error			メモリーカードに異常が発生したため、記録できません。頻繁に起きる場合には、メモリーカードを交換してください。
書き換え寿命に達しました メディア(A) ¹⁾ を交換してください Media Reached Rewriting Limit Change Media (A) ¹⁾			メモリーカードの寿命がきました。バックアップをとり、速やかに交換してください。継続して使用すると、正常に記録・再生できない可能性があります。 ◆詳しくは、メモリーカードの取扱説明書を参照してください。
メディア(A) ¹⁾ は使用できません ファイルシステムが異なります Cannot Use Media(A) ¹⁾ Unsupported File System			ファイルシステムが異なるメモリーカードが挿入されました。カードを交換または本機でフォーマットしてください。
バッテリーが高温です Battery Temperature High	断続音	点滅	バッテリーパックの温度が上昇しています。いったん電源を切り、バッテリーパックを交換するか、温度が下がるまで使用を中止してください。

1 スロットBに入れたカードの場合は(B)

ライセンスについて

GPL/LGPL適用ソフトウェアの入手について

本製品はGPL/LGPL適用のソフトウェアを使用しており、お客様には、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。これらのソースコードはインターネットのサーバーからダウンロードすることが可能です。以下のURLにアクセスすれば、具体的なダウンロードの方法がわかるようになっています。

<http://www.sony.net/Products/Linux/common/search.html>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンスの内容に関しては、付属のCD-ROMに収録されている「License」フォルダ内の「License1.pdf」をご覧ください。

PDFファイルをご覧いただくためには、Adobe Readerがパソコンにインストールされている必要があります。

Adobe Readerがインストールされていない場合は、下記URLにアクセスしてダウンロードすることができます。

<http://get.adobe.com/jp/reader/>

オープンソースソフトウェアのライセンスについて

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されています。

当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンスの内容に関しては、付属のCD-ROMに収録されている「License」フォルダ内の「License1.pdf」をご覧ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合、ご希望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

主な仕様

システム

信号方式 4K画質 (3840×2160/4096×2160) : UHDTV方式
HD画質 : デジタルハイビジョン方式

ビデオ記録方式 4K画質 (3840×2160/4096×2160) : MXF AVC/H.264 XAVC ver.1.0規格準拠
HD画質 : MXF AVC/H.264 XAVC ver.1.0規格準拠

音声記録方式 リニアPCM 8ch (2ch記録再生)、48kHz、24bit

記録メディア XQDメモリーカード
撮像素子 7.82 mm (1/2.3型) CMOSセンサー
総画素数 : 約1890万画素
動画時有効画素数
(16 : 9モード) : 約830万画素
(17 : 9モード) : 約880万画素

ズームレンズ Gレンズ
20倍 (光学)
f=4.1mm ~ 82.0mm
35mmカメラ換算
31.5mm~630mm (16 : 9モード)
30.0mm~600mm (17 : 9モード)
F1.6~F3.4
フィルター径72mm

色温度切り換え 屋内 (3 200K)
屋外 (5 600K)
色温度指定 (2 300K~15 000K)

最低被写体照度 60P (NTSC Area) :
4 lx (ルクス) (シャッタースピード固定 (1/30)、マニュアルゲインコントロール (27dB)、アイリスオート (F1.6))
50P (PAL Area) :
3 lx (ルクス) (シャッタースピード固定 (1/25)、マニュアルゲインコントロール (27dB)、アイリスオート (F1.6))

入 / 出力端子

VIDEO OUT 端子 ピンジャック
1Vp-p、75Ω不平衡、同期負

AUDIO OUT 端子 ピンジャック
-10dBu (47kΩ負荷時)、
出力インピーダンス2.2kΩ以下
(0dBu=0.775Vrms)

HDMI OUT 端子 HDMIコネクタ (Type A)

SDI OUT 端子 BNCコネクタ
○ (ヘッドホン) 端子 ステレオミニジャック (φ3.5mm)

INPUT1/ INPUT2端子 XLR型3ピン×2、凹
MIC : -50dBu : 3kΩ
LINE : +4dBu : 10kΩ
(0dBu=0.775Vrms)

USB端子 mass-storage : mini-B
host : Type A

リモート端子 ステレオミニミニジャック (φ2.5mm)

TC LINK端子 ピンジャック

液晶画面

画面サイズ 8.8cm (3.5型、アスペクト比16:9)

総ドット数 1 229 000ドット
横854×縦480×3 [RGB]

ビューファインダー

画面サイズ 0.45型、アスペクト比16:9

総ドット数 1 226 880ドット相当

電源部、その他

電源電圧 DC7.2V (バッテリーバック使用時)
DC12V 2.5A (ACアダプター使用時)

消費電力 マイク (ECM-XM1)、液晶画面使用時、明るさ標準 :
NTSC Area :
4K : 15.2W (29.97P,300Mbps)
HD : 16.7W (59.94P,223Mbps)
PAL Area :
4K : 14.5W (25P,250Mbps)
HD : 15.9W (50P,223Mbps)

動作温度 0°C~40°C

保存温度 -20°C~+60°C

本体外形寸法 約189mm×193mm×362mm
(突起部含む) (幅×高さ×奥行き)

撮影時外形寸法 約189mm×193mm×449mm
(突起部含む、大型アイカップ、バッテリーバック (NP-F970)、マイク (ECM-XM1)、アクセサリシューキット装着状態)
(幅×高さ×奥行き)

本体質量 約2 460g

撮影時総質量 約2 910g (大型アイカップ、バッテリーバック (NP-F970)、マイク (ECM-XM1)、アクセサリシューキット装着時)

ACアダプター AC-NB12A

電源 AC 100V - 240V、50Hz/60Hz

消費電流 0.65A - 0.35A

消費電力 30W

定格出力 DC12V*

動作温度 0°C~45°C

保存温度 -20°C~+60°C

外形寸法 約49.5mm×28mm×99.5mm（最大突起部を除く）（幅×高さ×奥行き）

質量 約200g（本体のみ）

* その他の仕様は、ACアダプターのラベルをご覧ください。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

付属品

ACアダプター (1) (AC-NB12A)

電源コード (2)

AV接続ケーブル (1)

HDMIケーブル (1)

USBケーブル (1)

レンズフード (1)

大型アイカップ (1)

アクセサリシューキット (アクセサリ

シュー (1)、シューパネ (1)、ネジ (4))

ウインドスクリーン (1)

マイク (1) (ECM-XM1)

USBワイヤレスLANモジュール IFU-WLM3 (1)

CD-ROM 「Manuals for Digital 4K Video Camera Recorder」 (1)

取扱説明書 (2)

保証書 (1)

ソフトウェアのダウンロードについて

本機をPCと接続して使用する際は、必要に応じてデバイスドライバーや各種プラグインソフトウェア、アプリケーションソフトウェアをソニープロフェッショナル/業務用製品サイトからダウンロードしてお使いください。

ソニープロフェッショナル/業務用製品サイト ホームページ：

アメリカ合衆国 <http://pro.sony.com>

カナダ <http://www.sonybiz.ca>

ラテンアメリカ <http://sonypro-latin.com>

ヨーロッパ、中東、アフリカ
<http://www.pro.sony.eu>

日本 <http://www.sonybsc.com>

アジア <http://pro.sony-asia.com>

韓国 <http://bp.sony.co.kr>
中国 <http://pro.sony.com.cn>

記録した素材は、情報が複数のファイル、複数のフォルダーにまたがって置かれていますが、専用アプリケーションソフトウェアでは、これらの情報やディレクトリ構造を、ユーザーが意識することなく、容易に扱えるようになっています。

ご注意

- Explorer (Windows環境) やFinder (Mac環境) を使用して、XQDメモリーカード内のクリップのコピーなどを行うと、クリップが持つ情報を保持できなくなることがあります。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- “XDCAM”はソニー株式会社の商標です。
- “XAVC”および **XAVC** はソニー株式会社の登録商標です。
- XQD、および **XQD** はソニー株式会社の商標です。
- InfoLITHIUM (インフォリチウム) はソニー株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows MediaはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの米国およびその国における登録商標です。

- Intel、Intel Core、Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe logo、Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他における登録商標または商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

索引

あ行

アイリスリング	29
アクセサリシュー	5
アクセサリシュー 取り付け部	5
アサイナブルボタン	35
頭出し	28
液晶画面	12
エラー表示	65
屋外	31
屋内	31
音声	28

か行

海外で使う	57
外部モニター	53
記録フォーマット	29
クリップ	28, 37, 54
クリップ名	28
警告表示	65
ゲイン	29
ゲインスイッチ	29
結露	59
広角	26
コンセント	15

さ行

サムネイル画面	36
サムネイルメニュー	37
シャッタースピード	30
充電時間	15
シューバネ	5
出力信号	62
ショルダーストラップ	8
ショルダーストラップ取り付け部	8
ズーム	26
ズームリング	27
ズームレバー	26
スロー&クイックモーション	35
セットアップメニュー	40, 41

た行

タイムコード	34
タイムデータ	34
電源コード	14
時計	16

な行

内蔵充電式電池	60
ノンリニア編集	54

は行

ハンドルズーム	26
ハンドルズームスイッチ	26
ハンドルズームレバー	26
日付/時刻	16
ビデオフォーマット	62
ビューファインダー	12
ビューファインダー取りはずしつまみ	60
ピント拡大	27
ファインダー	
視度調整つまみ	18
フォーカスリング	27
フォーマット (初期化)	19
プッシュオートフォーカス	27
ヘッドホン端子	8
望遠	26
ホワイトバランス	31
ホワイトバランスメモリースイッチ	31

ら行

レンズ	60
レンズカバー付きフード	17
レンズカバーレバー	17
録画ボタン	26

A

AC アダプター	15
All File	49
All Reset	51
Assignable Button	35, 50
Audio Input	44
Audio Output	44
Audio メニュー	44
Auto Exposure	41
AUTO/MANUAL スイッチ	29

B

Basic Authentication	51
Black	42

C

Camera メニュー	41
Clock Set	51
Color Bars	41
Country	51
Customize View	52

D

Delete All Clips	52
Delete Clip	52
Detail	43
Display Clip Properties	38, 52
Display On/Off	47

F

File メニュー	49
Flicker Reduce	41
Focus	41
FOCUS スイッチ	27
Format Media	49

G

Gain	41
GAIN ボタン	29
Gamma	43

H

Handle Zoom	42
HDMI OUT 端子	53, 63
Hours Meter	51

I

Indoor	31
InfoLITHIUM (インフォリチウム) バッテリー	58
INPUT1 端子	16
IRIS ボタン	29

K

Knee	43
------------	----

L

Language	50
LCD Setting	45
LCD/VF メニュー	45

M

Marker	46
Matrix	44
Media Full	20
Media Near Full	20
Media メニュー	49
MENU ボタン	40
MIC+48V	33
MRW-E80	54

N

ND フィルター	30
----------------	----

O

Offset White	42
OPTION ボタン	37
Outdoor	31
Output Display	45
Output Format	45
Output On/Off	45

P

Paint メニュー	42
Peaking	46
PUSH AUTO ボタン	27
PUSH (レンズフード取りはずし) ボタン	17

R

Rec Format	50
Rec Lamp	50
Recording メニュー	48

S

SDI OUT 端子	53, 62
SDI/HDMI Rec Control	49
SEL/SET ダイヤル	40
SHUTTER SPEED ボタン	30
Skin Detail	43
Speed Zoom	42

SteadyShot.....	42
System メニュー.....	50
S&Q Motion.....	48

T

TC/UB メニュー.....	48
Thumbnail メニュー.....	52
Time Zone.....	16
Timecode.....	48

U

USB ケーブル.....	54
USB ワイヤレス LAN モジュール.....	20
UTC.....	16

V

Version.....	52
VF Setting.....	45
VIDEO OUT 端子.....	53, 64
Video メニュー.....	45

W

White.....	42
WHT BAL ボタン.....	31
Wi-Fi.....	51
Wi-Fi リモコン.....	22

X

XQD メモリーカード.....	18
------------------	----

Z

Zebra.....	46
------------	----

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

Printed in China



4484009010